

▼ 第2章 市民の健康を取り巻く現状 ▼

▼第2章 市民の健康を取り巻く現状▼

1 人口構造の推移

(1) 人口

本市の人口は、平成28年1月1日現在101,519人で、平成7年頃までは大きく増加していましたが、近年ではほぼ横ばいで推移しています。

年齢別人口では、65歳以上の高齢者人口が年々増加し、15歳未満の年少人口は減少傾向が継続しており、少子高齢化が進んでいます。

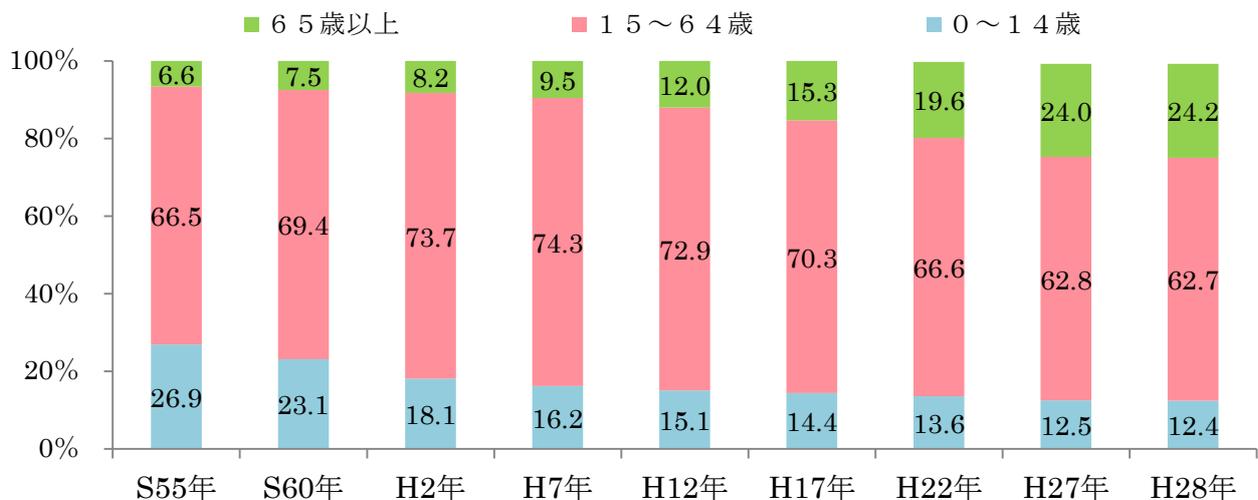
伊勢原市の人口の推移



資料：昭和55～平成27年：国勢調査

平成28年：神奈川県年齢別人口統計(1月1日現在)

伊勢原市の年齢別人口の推移



資料：昭和55～平成27年：国勢調査

平成28年：神奈川県年齢別人口統計(1月1日現在)

*年齢不詳者を除いているため、合計は100%にならない。

(2) 世帯数

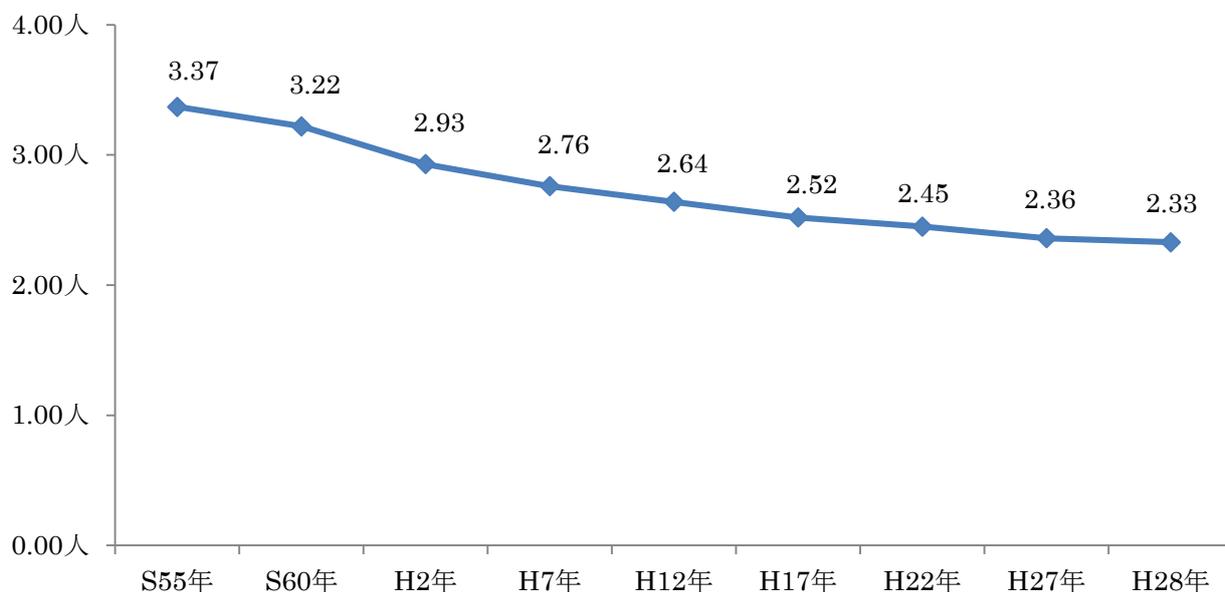
本市の世帯数は、平成28年10月1日現在43,602世帯で、増加傾向で推移しています。

一方で、1世帯当たり人員は年々減少しており、核家族化が進行している状況が伺えます。

伊勢原市の世帯数の推移



伊勢原市の1世帯当たり人員の推移



資料：昭和55～平成27年：国勢調査

平成28年：国勢調査基準の推計人口

(3) 出生率と合計特殊出生率*1

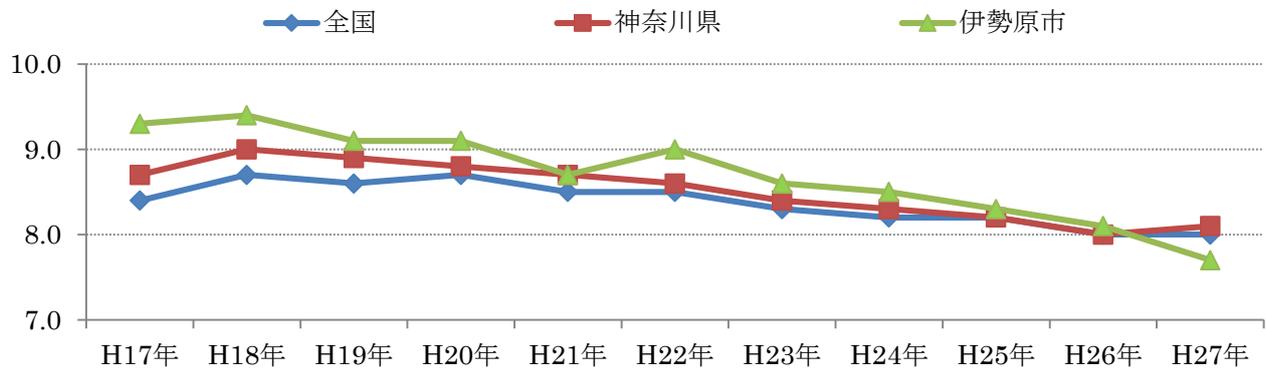
平成27年における本市の出生率（人口千対）は7.7で、全国8.0、県8.1を初めて下回る水準となり、ゆるやかな減少傾向が継続しています。

また、1人の女性が一生の間に生む子どもの数（合計特殊出生率）は、本市は1.31で、神奈川県1.33、全国1.45を下回っています。

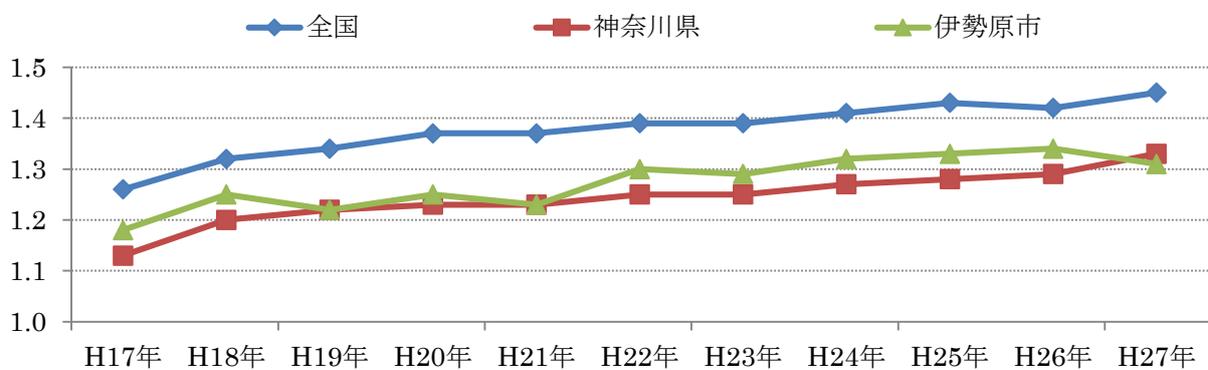
全国・神奈川県・伊勢原市における出生数・出生率・合計特殊出生率

区分	出生数（人）			出生率（人口千対）			合計特殊出生率		
	全国	神奈川県	伊勢原市	全国	神奈川県	伊勢原市	全国	神奈川県	伊勢原市
H17年	1,062,530	76,196	939	8.4	8.7	9.3	1.26	1.13	1.18
H18年	1,092,674	79,118	949	8.7	9.0	9.4	1.32	1.20	1.25
H19年	1,089,818	79,193	914	8.6	8.9	9.1	1.34	1.22	1.22
H20年	1,091,156	79,179	913	8.7	8.8	9.1	1.37	1.23	1.25
H21年	1,070,035	78,057	882	8.5	8.7	8.7	1.37	1.23	1.23
H22年	1,071,304	78,077	905	8.5	8.6	9.0	1.39	1.25	1.30
H23年	1,050,806	76,000	868	8.3	8.4	8.6	1.39	1.25	1.29
H24年	1,037,231	75,477	862	8.2	8.3	8.5	1.41	1.27	1.32
H25年	1,029,816	74,320	833	8.2	8.2	8.3	1.43	1.28	1.33
H26年	1,003,539	72,996	814	8.0	8.0	8.1	1.42	1.29	1.34
H27年	1,005,677	73,475	780	8.0	8.1	7.7	1.45	1.33	1.31

全国・神奈川県・伊勢原市における出生率（人口千対）



全国・神奈川県・伊勢原市における合計特殊出生率



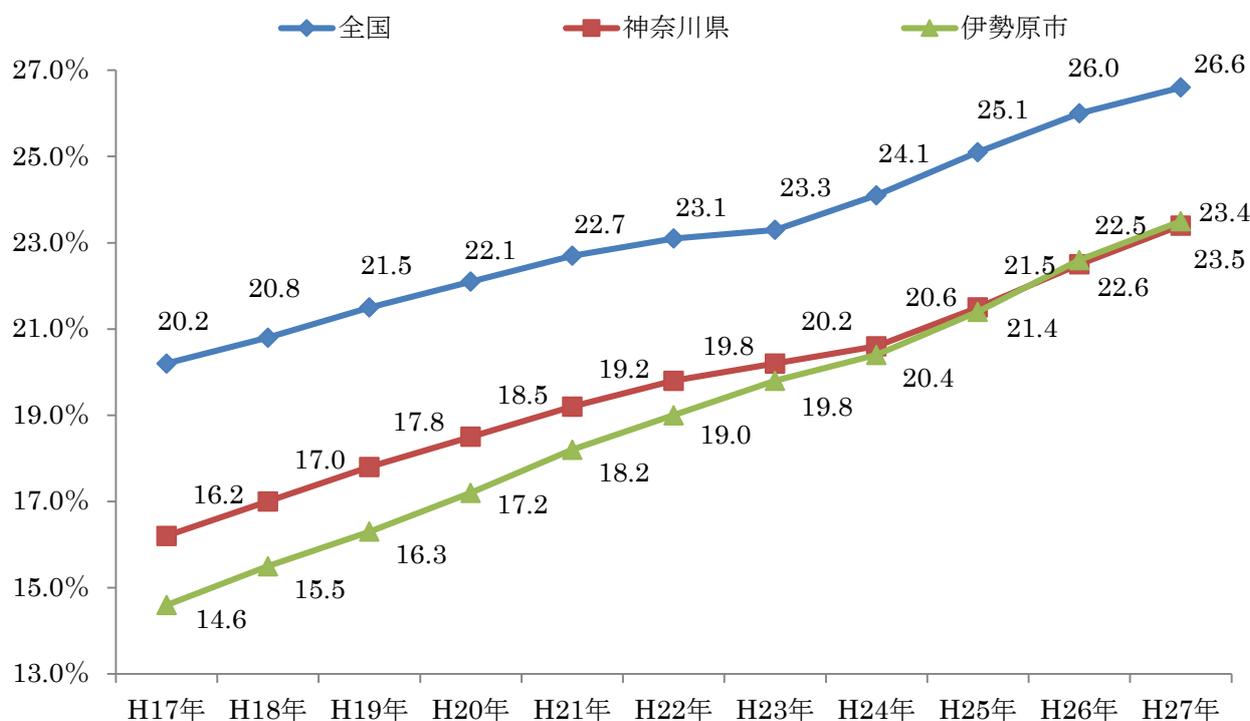
資料：平成29年我が国の人口動態（厚生労働省） 平成17～平成27年：神奈川県衛生統計年報

*1 合計特殊出生率は、15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生に産む子どもの数を表します。

(4) 高齢化率

平成27年1月1日現在の本市の高齢化率は23.5%で、全国平均の26.6%を下回っています。また、以前は、神奈川県の実績を下回っていましたが、徐々に近づき平成27年にはほぼ同率になり、ゆるやかに全国の高齢化率へ近づいています。

高齢化率の推移



資料：総務省人口推計(各年1月1日現在)

平成17～27年：神奈川県衛生統計年報(各年1月1日現在)



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

2 死亡要因の状況

(1) 主要死因別死亡の状況

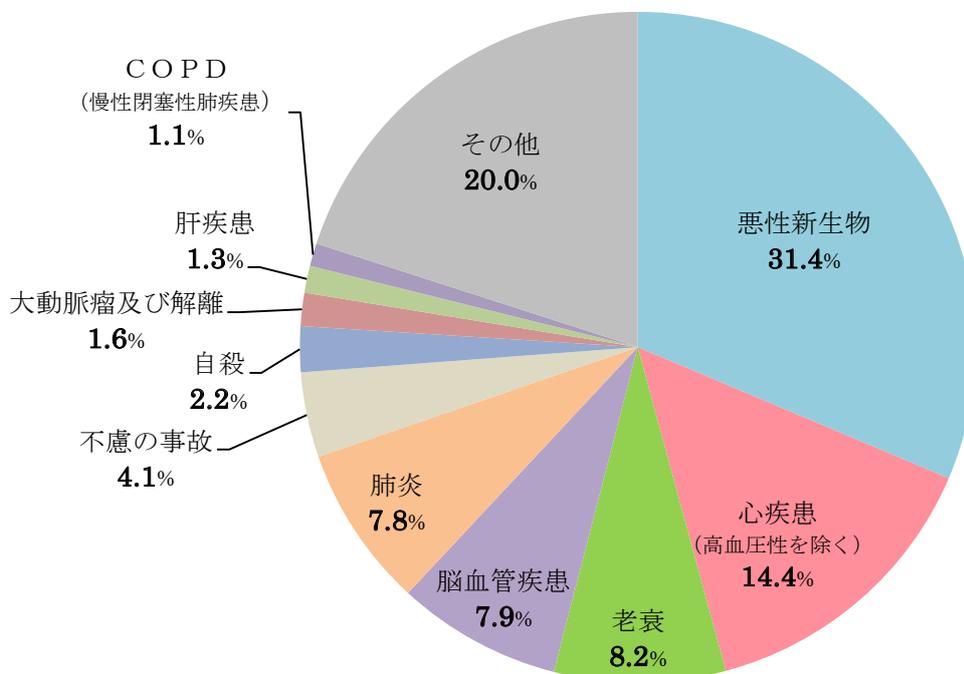
平成27年の死亡要因の1位と2位は、国、神奈川県、本市ともに同じであり、3位は国が肺炎、神奈川県が脳血管疾患、本市が老衰となっています。

平成27年全国・神奈川県・伊勢原市死亡順位

(単位：%)

区分	1位	2位	3位	4位	5位
全国	悪性新生物 28.7	心疾患 (高血圧性を除く) 15.2	肺炎 9.4	脳血管疾患 8.7	老衰 6.6
神奈川県	悪性新生物 30.6	心疾患 (高血圧性を除く) 14.4	脳血管疾患 8.2	肺炎 8.2	老衰 7.5
伊勢原市	悪性新生物 31.4	心疾患 (高血圧性を除く) 14.4	老衰 8.2	脳血管疾患 7.9	肺炎 7.8

平成27年伊勢原市民の死因



資料：平成27年神奈川県衛生統計年報

(2) 3大疾患による死亡者年次推移

過去10年間の傾向をみると、悪性新生物による死亡者数が神奈川県、本市ともに1位で、本市は年によって変化はあるものの、増加傾向となっています。

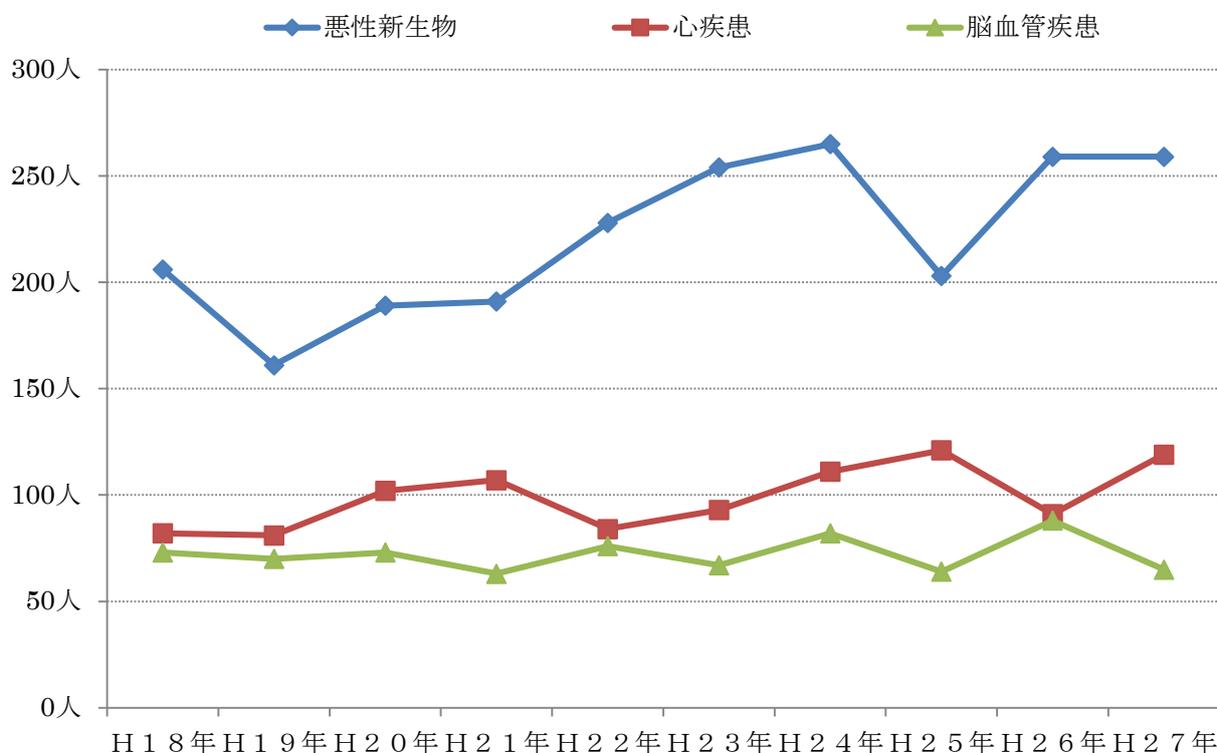
また、心疾患、脳血管疾患による死亡者数は、年によって差があります。

3 死亡要因による死亡者数の推移

(単位：人)

区分	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	
神奈川県	悪性新生物	19,368	20,237	20,575	20,550	21,246	22,279	22,302	22,509	22,993	23,200
	心疾患	8,926	9,102	9,650	9,629	9,976	10,459	10,470	10,623	10,786	10,890
	脳血管疾患	6,770	6,666	6,887	6,601	6,758	6,831	6,720	6,574	6,270	6,219
伊勢原市	悪性新生物	206	161	189	191	228	254	265	203	259	259
	心疾患	82	81	102	107	84	93	111	121	91	119
	脳血管疾患	73	70	73	63	76	67	82	64	88	65

伊勢原市3死亡要因による死亡者数の推移



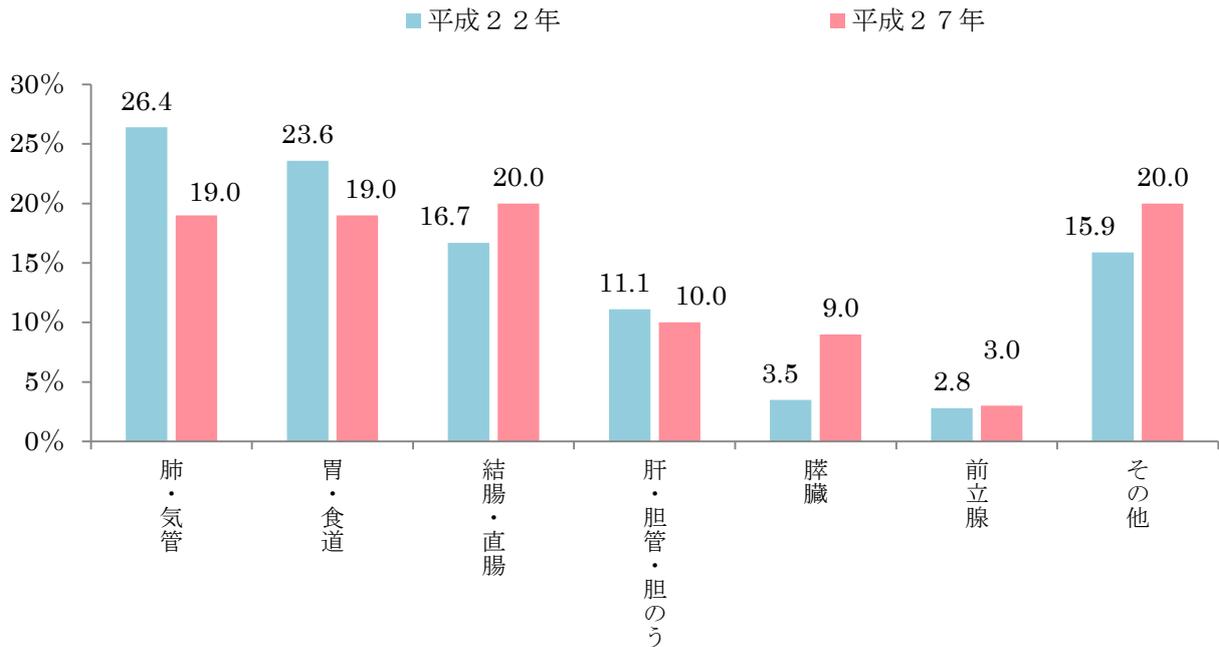
資料：平成27年神奈川県衛生統計年報

(3) 悪性新生物部位別死亡の状況

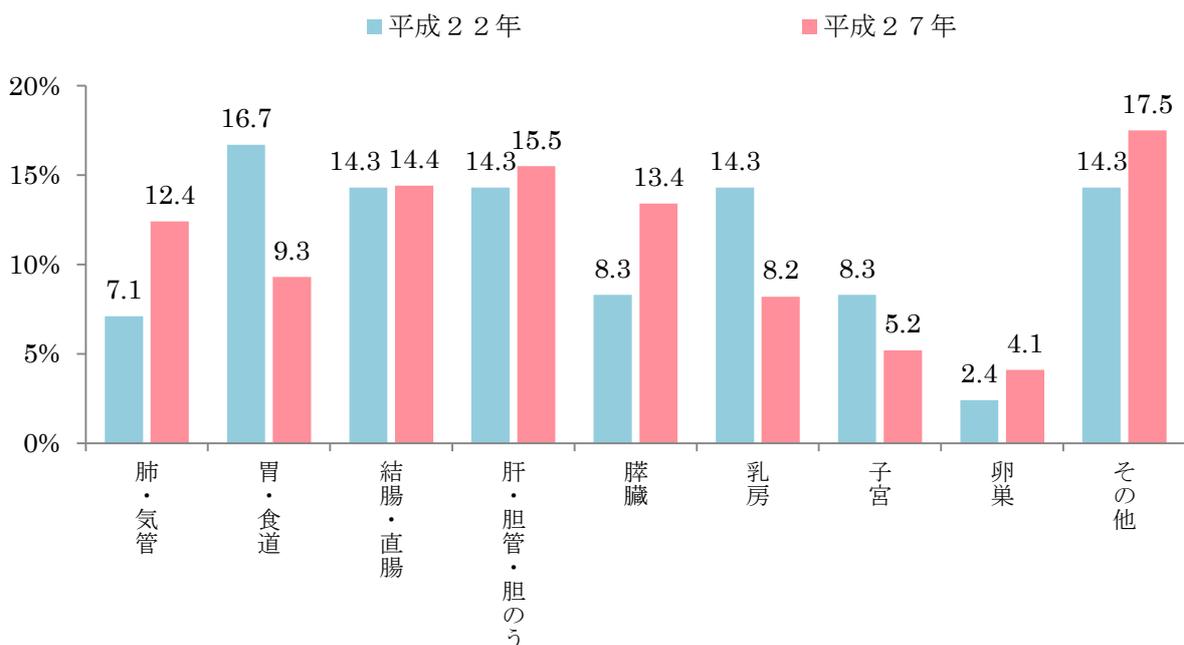
本市の悪性新生物部位別の死亡状況を平成27年と平成22年を比較すると、男性「肺・気管支」が7.4ポイント、「胃・食道」が4.6ポイント下がった一方、「膵臓」が5.5ポイント、「結腸・直腸」が3.3ポイント上昇しました。

女性は「胃・食道」が7.4ポイント、「乳房」が6.1ポイント、「子宮」が3.1ポイント減少しましたが、「肺・気管支」が5.3ポイント、「膵臓」が5.1ポイント、「卵巣」が1.7ポイント上昇しています。

悪性新生物部位別死亡の状況（伊勢原市 男性）



悪性新生物部位別死亡の状況（伊勢原市 女性）



資料：平成22・27年神奈川県衛生統計年報

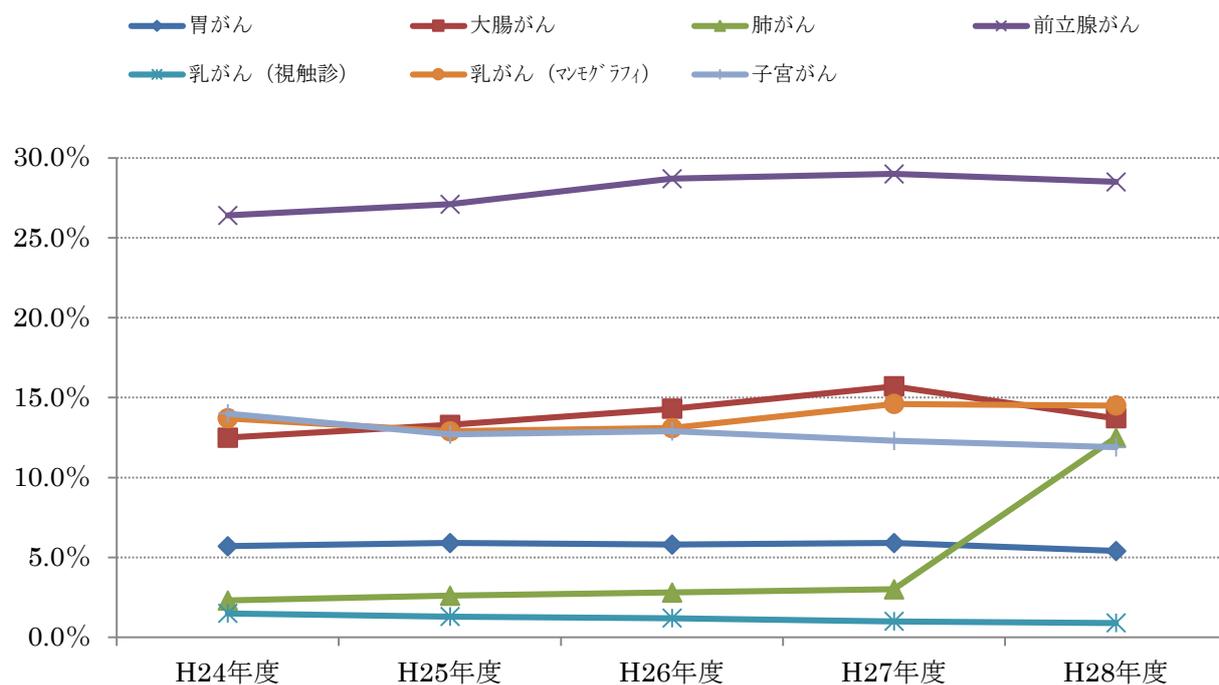
(4) 伊勢原市におけるがんの部位別検診受診率の推移

本市におけるがんの部位別検診受診率は、平成28年度に肺がん検診が上昇している以外は、ほぼ横ばいに推移しており、神奈川県が目標とする受診率（胃がん・大腸がん・肺がん検診率は40%、子宮・乳がん検診率は50%）より低い状況です。

なお、平成28年度に肺がん検診の受診率が上昇している理由は、集団検診に加え、医療機関での検診を開始したためです。

伊勢原市におけるがんの部位別検診受診率の推移 (単位：%)

区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
胃がん	5.7	5.9	5.8	5.9	5.4
大腸がん	12.5	13.3	14.3	15.7	13.7
肺がん	2.3	2.6	2.8	3.0	12.5
前立腺がん	26.4	27.1	28.7	29.0	28.5
乳がん（視触診）	1.5	1.3	1.2	1.0	0.9
乳がん（マンモグラフィ）	13.7	12.9	13.1	14.6	14.5
子宮がん	14.0	12.7	12.9	12.3	11.9

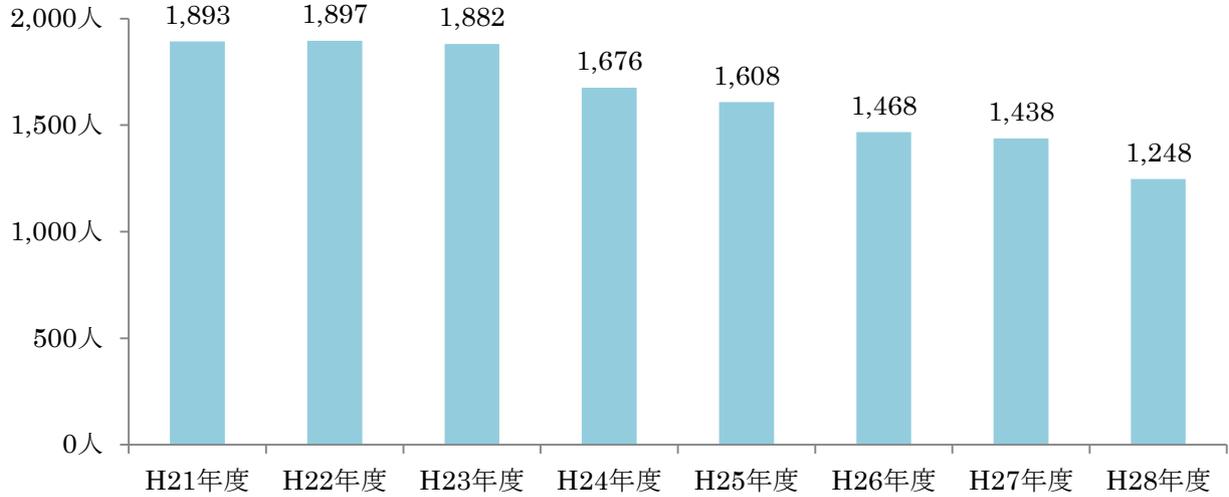


資料：保健事業概要（伊勢原市健康づくり課作成）

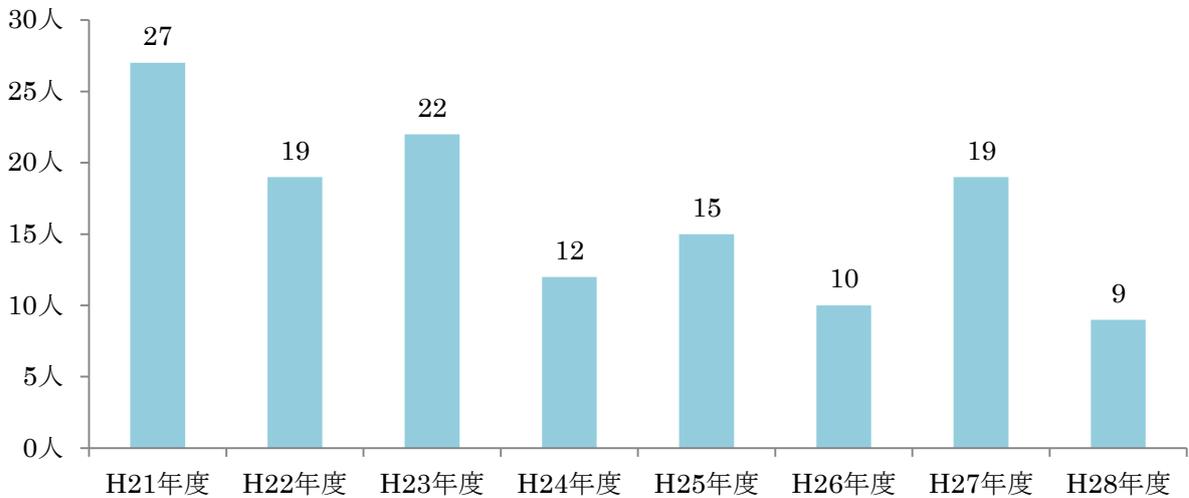
(5) 自殺者の推移

神奈川県の子殺者数は年々減少傾向にあります。本市は年によって人数に差があり、平成28年は前年と比較して10人減少しました。

神奈川県の自殺者の推移



伊勢原市の自殺者の推移



資料：自殺者統計 地域における自殺の基礎資料（内閣府）

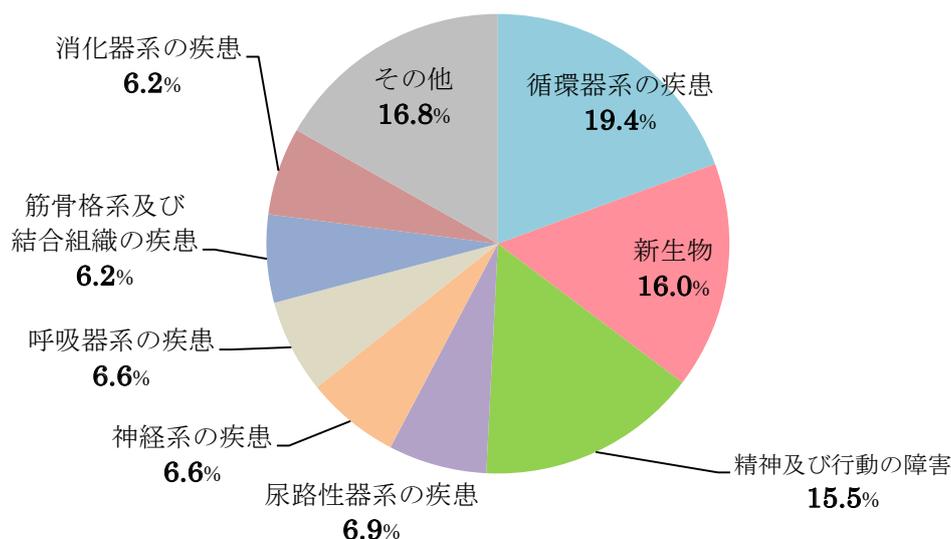
3 疾病状況

(1) 主要疾病医療費の状況（国民健康保険事業）

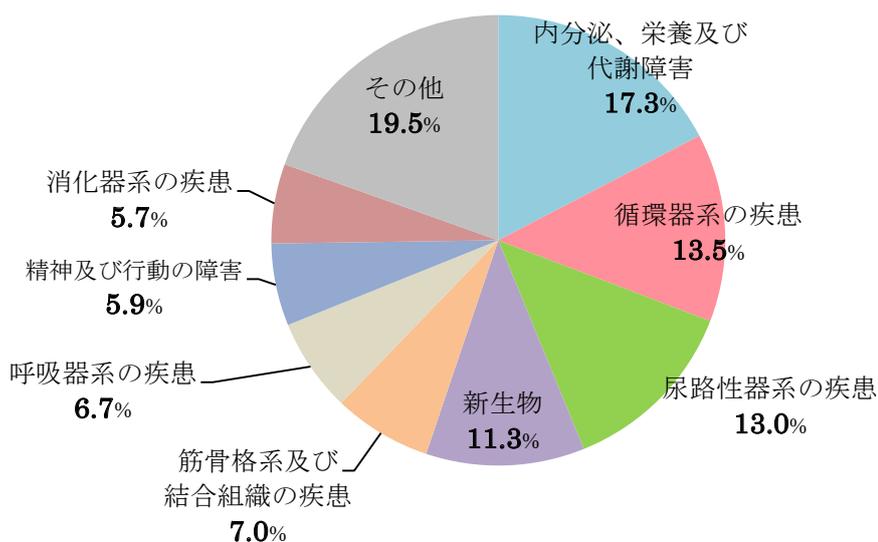
本市では、入院での医療費は「循環器系の疾患」、「新生物」、「精神及び行動の障害」の3疾患で半分以上を占め、外来では多い順番で「内分泌、栄養及び代謝障害」、「循環器系の疾患」、「尿路性器系の疾患」、「新生物」となっています。

平成28年度伊勢原市疾病大分類別医療費割合

【入院】



【外来】



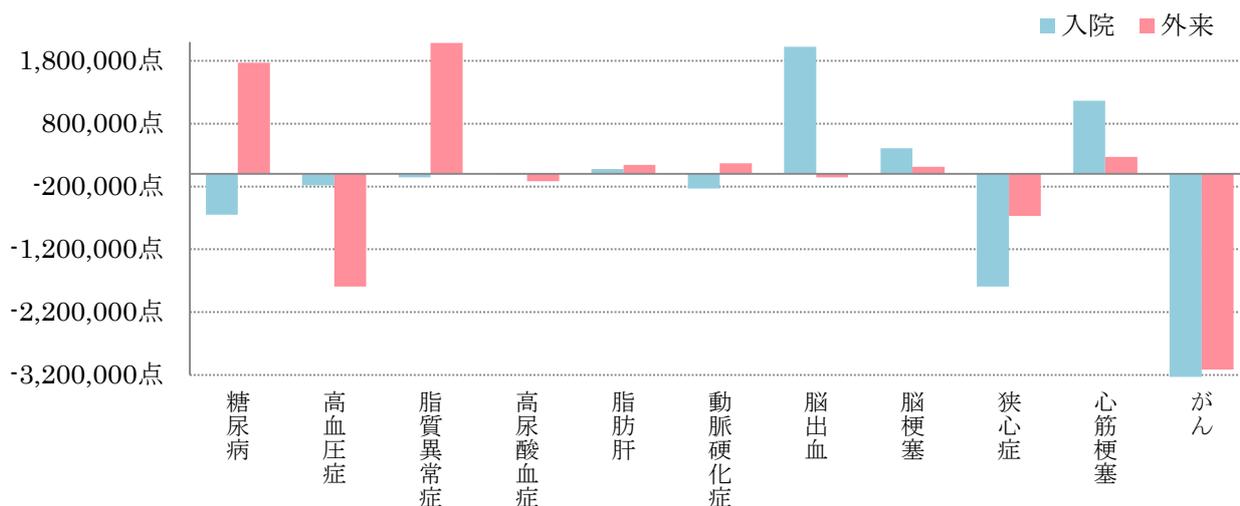
資料：KDBシステム「疾病大分類別医療費（大分類）」

(2) 疾病別医療費分析 生活習慣病（国民健康保険事業）

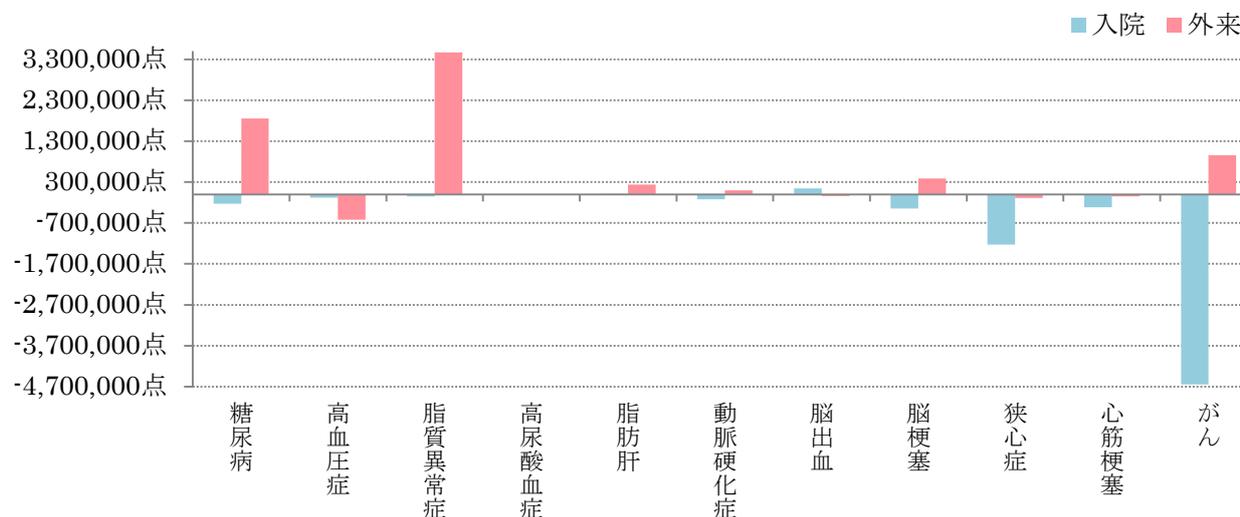
年齢構成の影響を受けない本市の「標準化医療費*2」を神奈川県と比較すると、入院では男性は脳出血と心筋梗塞、女性は神奈川県との差はほとんどありませんが、外来では男女共に脂質異常症、糖尿病が多くなっています。

平成28年度疾病別医療費 生活習慣病 標準化医療費の差（神奈川県と比較）

【男性 20歳から74歳まで】



【女性 20歳から74歳まで】



資料：KDBシステムのCSVファイル（疾病別医療費分析（生活習慣病））より計算

*2 標準化医療費とは

地域により人口の年齢構成比が異なり、全国一律に医療費の総額を比較することができないため、年齢の影響を補正し、年齢構成が同一と仮定して医療費の総額を計算し、医療費から見た健康状態を比較できるようにするものです。

表の見方

0点は神奈川県を示しており、0点を超えている項目は、神奈川県より伊勢原市の医療費が高く、下であると伊勢原市の医療費が低いことを表しています。

(3) 国民健康保険被保険者と医療費の推移

国民健康保険被保険者は年々減少していますが、1人当たりの医療費は増加しています。

国民健康保険被保険者と医療費の推移

伊勢原市	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
被保険者(人)	27,723	27,297	26,535	25,685
医療費(円)	7,194,545,770	7,293,776,160	7,590,648,870	7,873,181,160
1人当たり医療費(円)	259,515	267,201	286,062	306,528



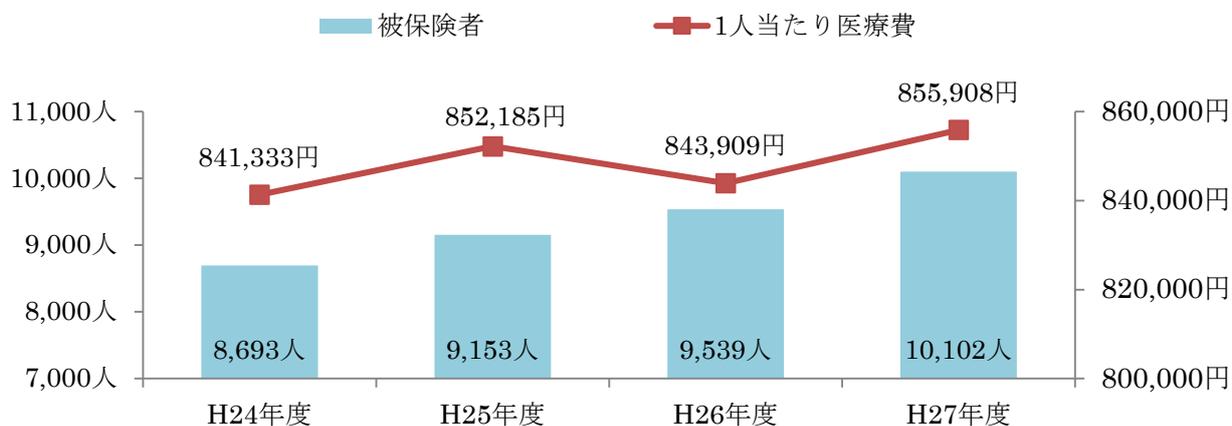
資料：KDBシステム神奈川県国民健康保険連合会作成

(4) 後期高齢者医療制度被保険者と医療費の推移

被保険者数は年々増加していますが、1人当たりの医療費は、横ばい傾向です。

後期高齢者医療制度被保険者と医療費の推移

伊勢原市	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
被保険者(人)	8,693	9,153	9,539	10,102
医療費(円)	7,313,708,734	7,800,052,334	8,050,051,724	8,646,377,873
1人当たり医療費(円)	841,333	852,185	843,909	855,908



資料：平成24～27年度神奈川県後期高齢者医療事業報告書

4 平均寿命と健康寿命

(1) 平均寿命

本市の平均寿命は、全国平均、神奈川県を上回っています。また、神奈川県の平均寿命は延びており、男女ともに全国平均より高くなっています。

神奈川県・伊勢原市の平均寿命

(単位：年)

区 分	H22 年		H27 年	
	男 性	女 性	男 性	女 性
全国	79.64	86.39	80.79	87.05
神奈川県	80.25	86.63	81.37	87.54
伊勢原市	80.50	87.30	—	—

資料：全国 厚生労働省「簡易生命表」
 神奈川県 平成22年：厚生労働省「都道府県別生命表」
 平成27年：神奈川県衛生統計年報
 伊勢原市 平成22年：厚生労働省「市区町村別生命表」

「平均寿命」と「健康寿命」、「65歳からの平均自立期間」との違い

- ◎ 「平均寿命」：0歳児が平均してあと何年生きられるかという指標です。
- ◎ 「健康寿命」：0歳を基準とし、日常生活に制限のない期間の平均です。
- ◎ 「65歳からの平均自立期間」：神奈川県が算出し、65歳を基準とし、日常生活動作が自立している期間の平均で「要介護2～5の認定を受けていない人」のデータを使用しています。
- ◎ 「平均余命」：ある年齢に達した人たちが、その後平均して何年生きられるかを示したものです。

今後、平均寿命の延伸とともに、健康な期間だけでなく、不健康な期間も延びることが予想されます。市民の健康づくりの一層の推進を図り、平均寿命の延び以上に健康寿命を延ばす（不健康な状態になる時点を遅らせる）ことは、個人の生活の向上とともに、社会負担を軽減する観点からも重要です。



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

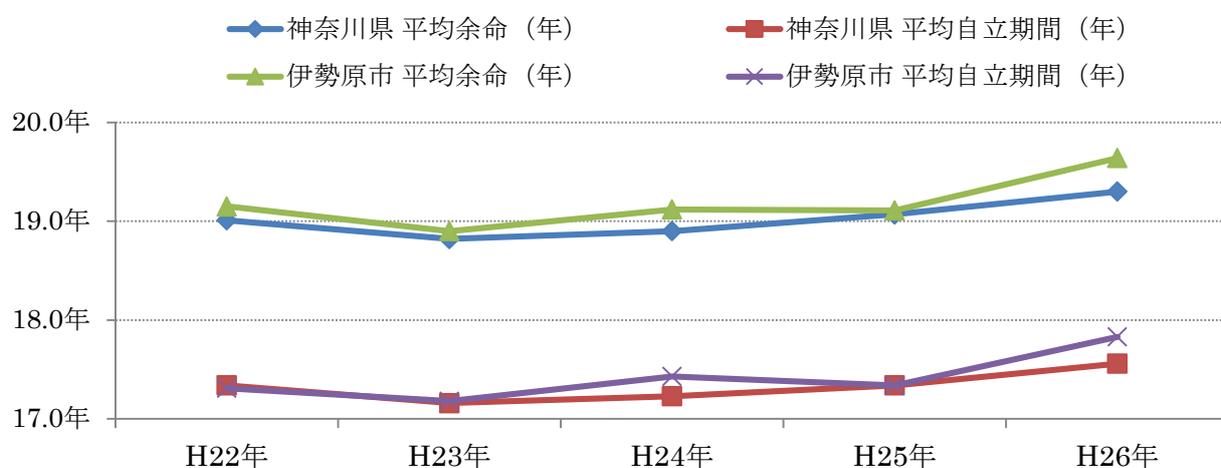
(2) 65歳からの平均自立期間

男性は神奈川県、本市ともにゆるやかに上昇しており、本市は平均余命、平均自立期間ともに県とほぼ同様かもしくは高く推移しており、女性は県、本市ともに横ばいで推移しています。

神奈川県・伊勢原市の65歳からの平均自立期間（男性）

（単位：年）

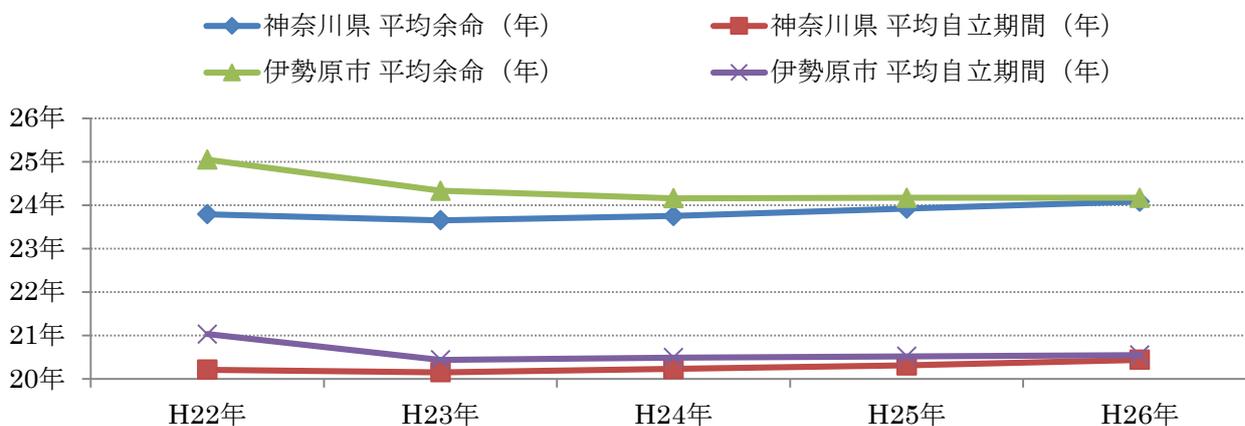
区分	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
神奈川県	平均余命	19.01	18.82	18.90	19.07	19.30
	平均自立期間	17.34	17.16	17.23	17.34	17.56
伊勢原市	平均余命	19.15	18.90	19.12	19.11	19.64
	平均自立期間	17.31	17.18	17.43	17.34	17.83



神奈川県・伊勢原市の65歳からの平均自立期間（女性）

（単位：年）

区分	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	
神奈川県	平均余命	23.79	23.65	23.75	23.92	24.08
	平均自立期間	20.21	20.15	20.23	20.31	20.44
伊勢原市	平均余命	25.05	24.33	24.16	24.17	24.17
	平均自立期間	21.03	20.44	20.49	20.52	20.55



資料：神奈川県作成「65歳からの平均自立期間」市町村別一覧

(3) 平均余命と平均自立期間との差

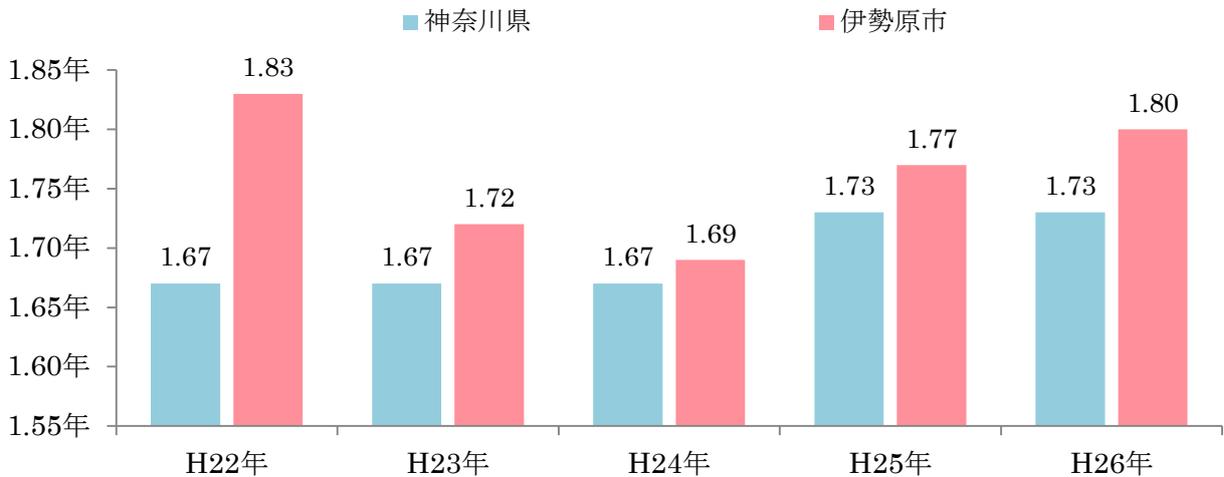
平均余命と平均自立期間の差は、数値が低いほど介護を必要とする期間が短いことを示しています。

本市の平均余命と平均自立期間との差は、男性は神奈川県より高く推移しながら再び上昇傾向にあり、女性は除々に低下し、平成26年に神奈川県とほぼ同水準になっています。

平均余命と平均自立期間との差（男性）

（単位：年）

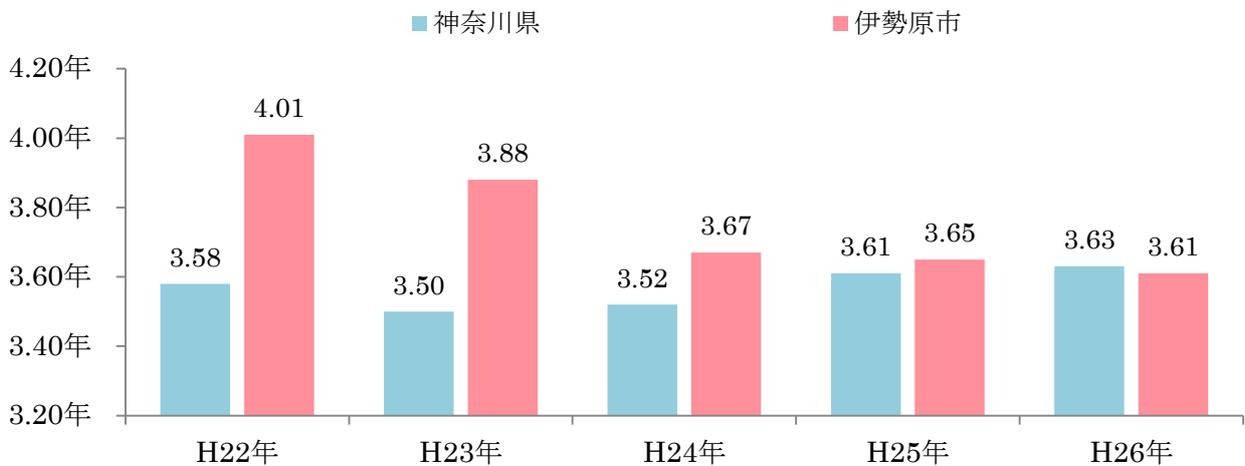
区分	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
神奈川県	1.67	1.67	1.67	1.73	1.73
伊勢原市	1.83	1.72	1.69	1.77	1.80



平均余命と平均自立期間との差（女性）

（単位：年）

区分	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
神奈川県	3.58	3.50	3.52	3.61	3.63
伊勢原市	4.01	3.88	3.67	3.65	3.61



資料：神奈川県作成「65歳からの平均自立期間」市町村別一覧

5 乳幼児健康診査

(1) 4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査

本市の乳幼児健康診査受診率は、上昇傾向で推移しています。

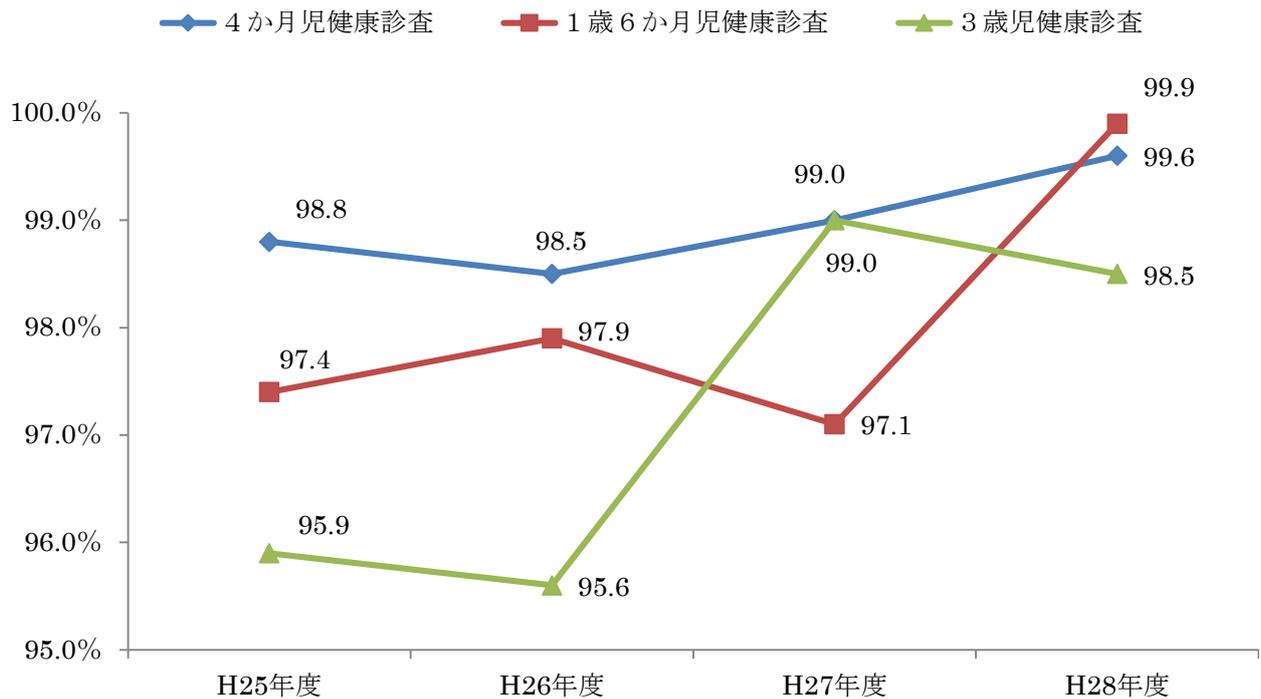
4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査対象者数と受診者数

(単位：人)

区分	H25年度		H26年度		H27年度		H28年度	
	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
4か月児健康診査	803	793	818	806	821	813	762	759
1歳6か月児健康診査	839	817	827	810	828	804	791	790
3歳児健康診査	839	805	801	766	830	822	812	800

資料：厚生労働省平成25～28年度地域保健・健康増進事業報告

4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査受診率の推移



資料：厚生労働省平成25～28年度地域保健・健康増進事業報告より算出

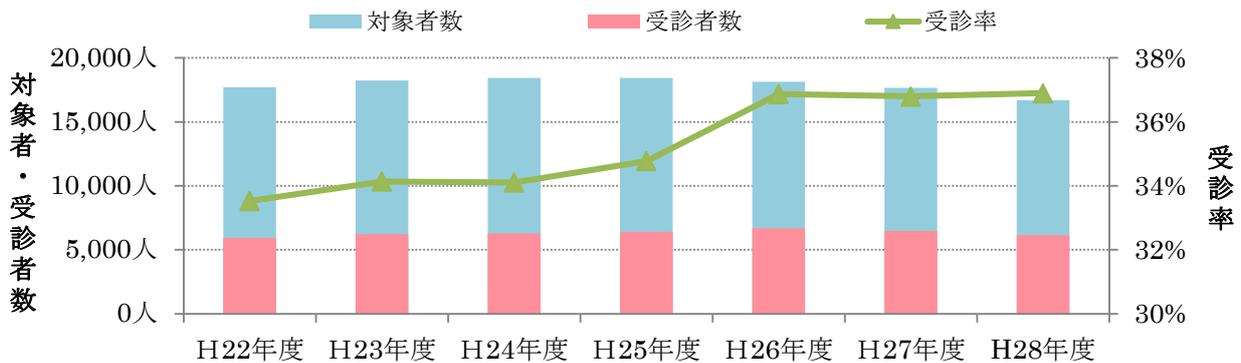
6 特定健康診査・特定保健指導

(1) 特定健康診査受診率

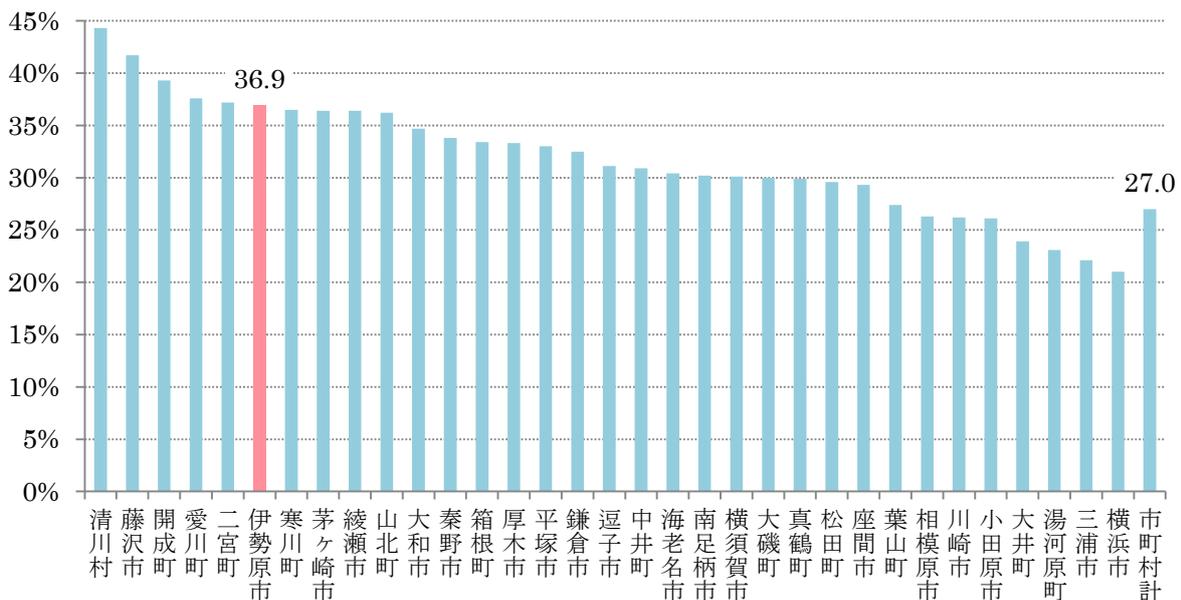
本市の国民健康保険特定健康診査受診率は上昇後、横ばい傾向で推移しており、神奈川県内の市町村の中では、平成28年度で6番目に高い受診率となっています。

伊勢原市国民健康保険特定健康診査受診率

年度	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
H22年度	17,723	5,942	33.5
H23年度	18,231	6,224	34.1
H24年度	18,439	6,289	34.1
H25年度	18,440	6,413	34.8
H26年度	18,135	6,687	36.9
H27年度	17,654	6,491	36.8
H28年度	16,691	6,162	36.9



平成28年度国民健康保険特定健康診査受診率市町村比較



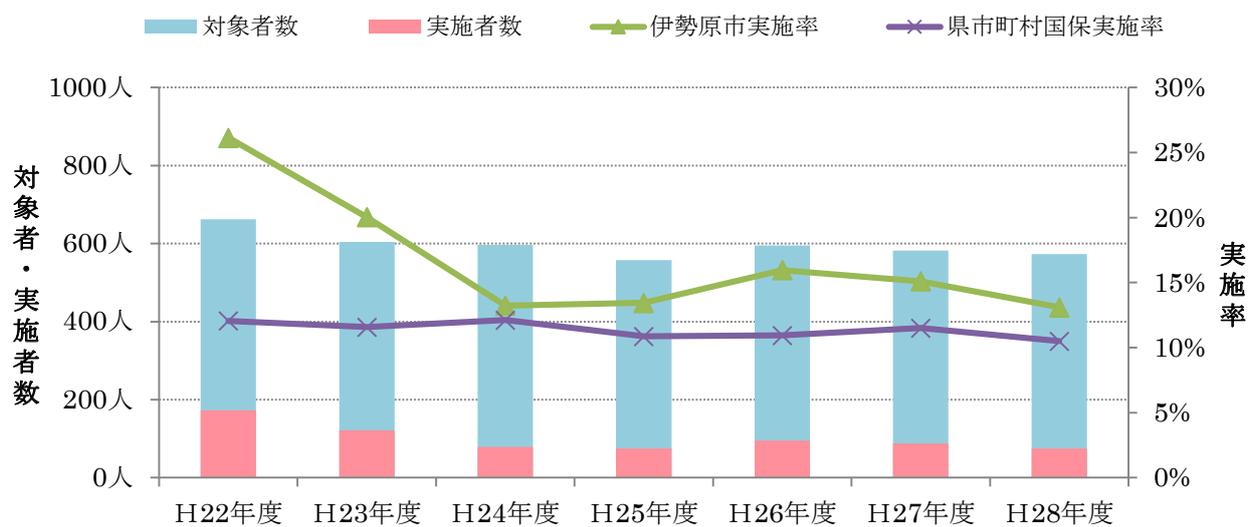
資料：神奈川県平成22～28年度法定報告

(2) 特定保健指導

本市の国民健康保険特定保健指導実施率は、平成26年度には16%に上昇後、平成28年度は再び低下していますが、毎年、神奈川県市町村国民健康保険実施率を上回っています。

伊勢原市国民健康保険特定保健指導実施率

年度	対象者数(人)	実施者数(人)	伊勢原市実施率 (%)	縣市町村国保実施率 (%)
H22年度	662	173	26.1	12.1
H23年度	604	121	20.0	11.6
H24年度	597	79	13.2	12.1
H25年度	558	75	13.4	10.9
H26年度	595	95	16.0	10.9
H27年度	582	88	15.1	11.5
H28年度	573	75	13.1	10.5



資料：神奈川県平成22～28年度法定報告

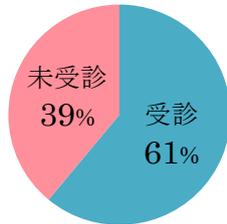
(3) 特定健康診査結果による受診状況

平成27年度国民健康保険特定健康診査の結果、医療機関をすぐに受診する必要がある人（即受診レベルの人）のうち、医療機関未受診者の割合は、収縮期血圧で38.5%、拡張期血圧で35.0%、LDLコレステロール値で38.6%と多くなっています。

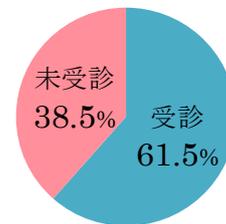
平成27年度 収縮期血圧

	受診勧奨値以上(140~159mmHg)		即受診レベル(160mmHg以上)	
医療機関受診	784人	61.0%	152人	61.5%
医療機関未受診	502人	39.0%	95人	38.5%
合計	1,286人		247人	

受診勧奨値以上



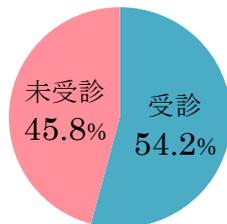
即受診レベル



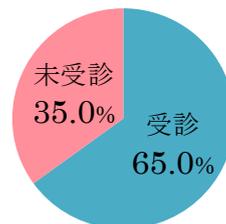
平成27年度 拡張期血圧

	受診勧奨値以上(90~99mmHg)		即受診レベル(100mmHg以上)	
医療機関受診	245人	54.2%	78人	65.0%
医療機関未受診	207人	45.8%	42人	35.0%
合計	452人		120人	

受診勧奨値以上



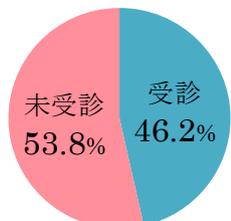
即受診レベル



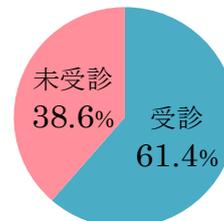
平成27年度 LDLコレステロール値

	受診勧奨値以上(140~179mg/dl)		即受診レベル(180 mg/dl 以上)	
医療機関受診	723 人	46.2%	148 人	61.4%
医療機関未受診	841 人	53.8%	93 人	38.6%
合計	1,564 人		241 人	

受診勧奨値以上



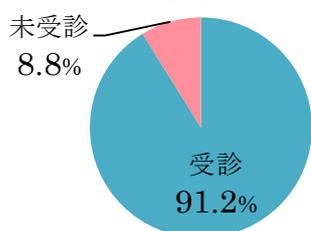
即受診レベル



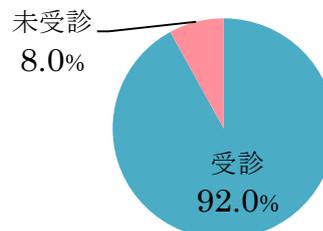
平成27年度 HbA1c値

	受診勧奨値以上(6.5~8.3%)		即受診レベル(8.4%以上)	
医療機関受診	321 人	91.2%	23 人	92.0%
医療機関未受診	31 人	8.8%	2 人	8.0%
合計	352 人		25 人	

受診勧奨値以上



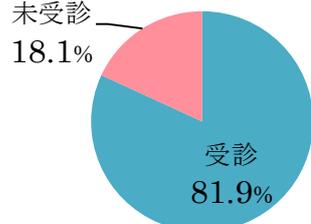
即受診レベル



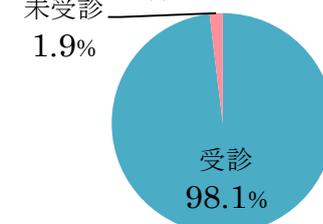
平成27年度 空腹時血糖値

	受診勧奨値以上(126~159mg/dl)		即受診レベル(160mg/dl 以上)	
医療機関受診	145 人	81.9%	53 人	98.1%
医療機関未受診	32 人	18.1%	1 人	1.9%
合計	177 人		54 人	

受診勧奨値以上



即受診レベル



資料：KDBシステム神奈川県国民健康保険連合会作成

7 歯科保健の状況

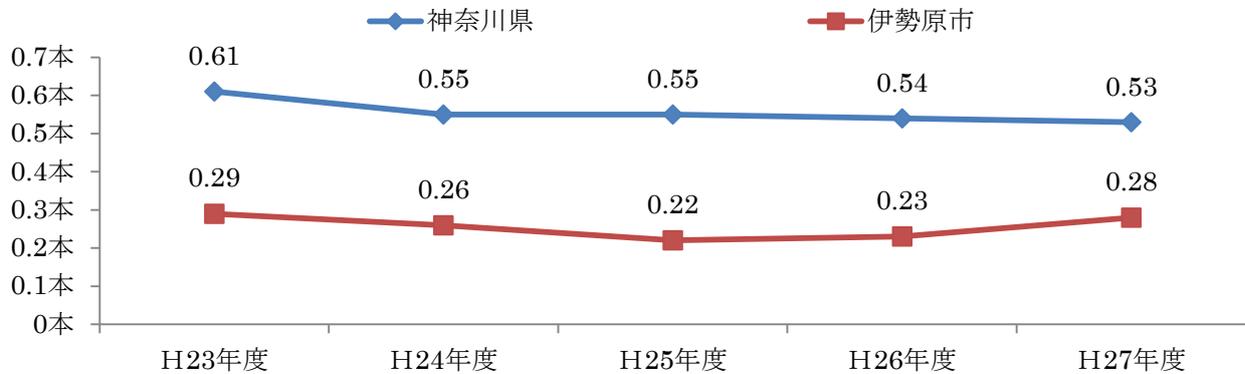
(1) 3歳児健康診査におけるむし歯有病率の変化

本市の有病率、1人平均むし歯数は、神奈川県平均より大幅に低く推移していますが、重度むし歯構成割合は、年度により差があります。

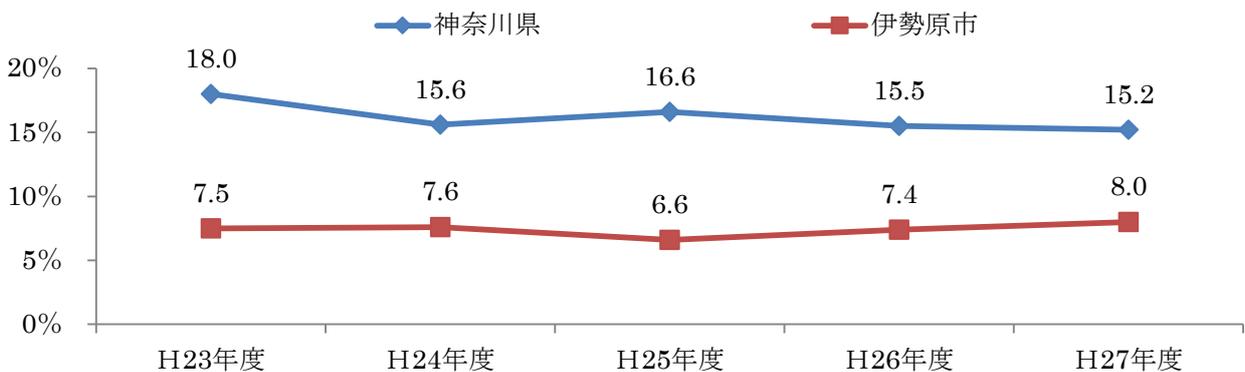
3歳児健康診査におけるむし歯有病率

区分	年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	有病者数 (人)	むし歯総数 (本)	受診率 (%)	有病率 (%)	平均むし歯 (本/人)
神奈川県	H23年度	20,448	18,633	3,352	11,365	91.1	18.0	0.61
	H24年度	20,091	18,484	2,885	10,143	92.0	15.6	0.55
	H25年度	19,823	18,343	3,038	10,118	92.5	16.6	0.55
	H26年度	19,539	18,509	2,862	9,942	94.7	15.5	0.54
	H27年度	18,763	17,603	2,679	9,406	93.8	15.2	0.53
伊勢原市	H23年度	896	852	64	249	95.1	7.5	0.29
	H24年度	866	838	64	215	96.8	7.6	0.26
	H25年度	839	805	53	176	95.9	6.6	0.22
	H26年度	801	766	57	176	95.6	7.4	0.23
	H27年度	830	822	66	229	99.0	8.0	0.28

3歳児健康診査1人平均むし歯数

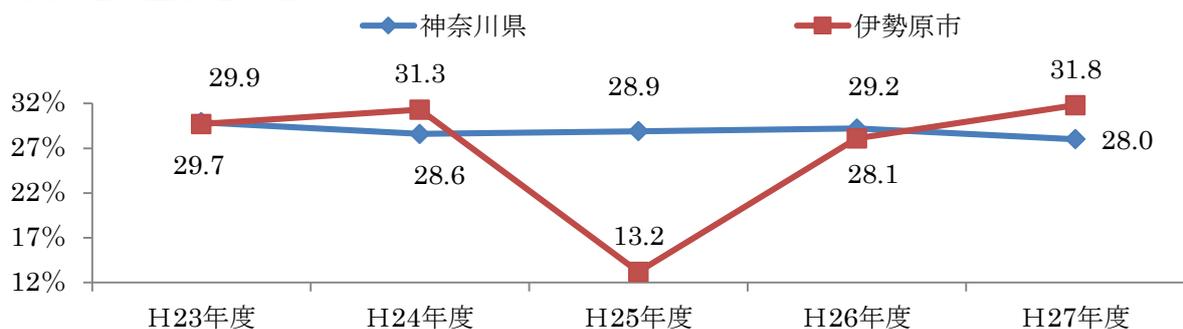


3歳児健康診査むし歯有病率



資料：平成27年度平塚保健福祉事務所秦野センター年報

3 歳児健診重度むし歯構成割合*3

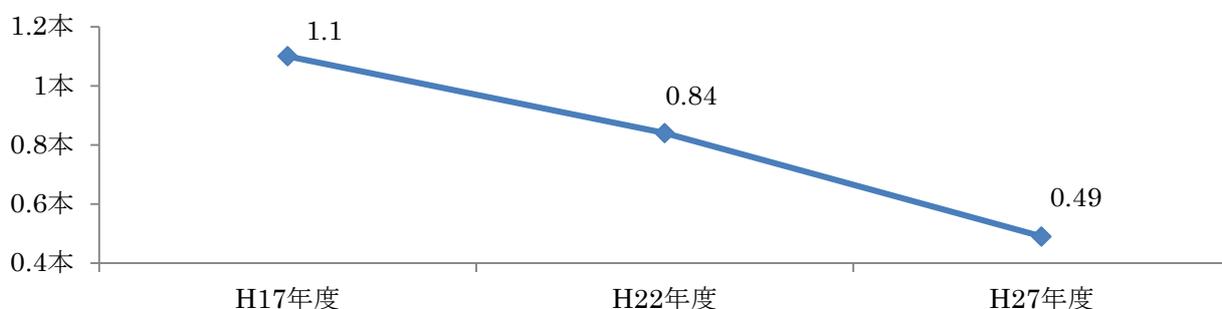


資料：平成27年度平塚保健福祉事務所秦野センター年報

(2) 12歳児における1人平均むし歯数

本市では、年々低下しており、平成27年度の調査では、0.49本となっています。

伊勢原市における12歳児1人平均むし歯数

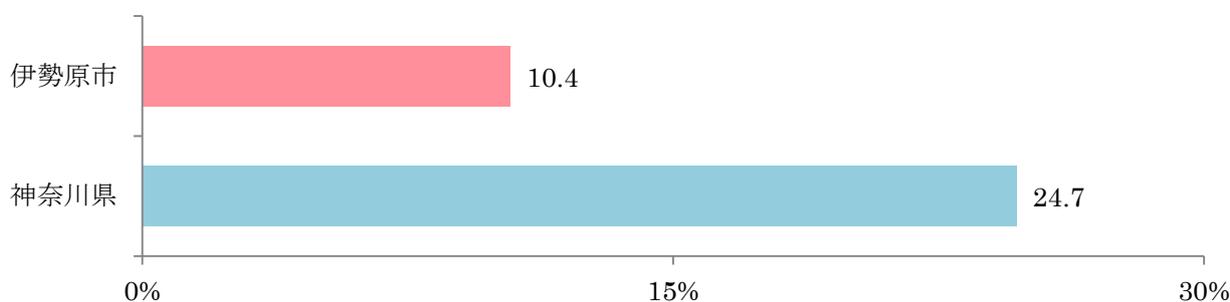


資料：平成17、22、27年度神奈川県定期歯科検診結果に関する調査結果

(3) 中学生3学年における歯肉に異常のある人の割合

歯肉に異常のある人の割合は、平成27年度では10.4%であり、神奈川県と比較して低くなっています。

中学3学年における歯肉に異常のある人の割合



資料：平成27年度神奈川県定期歯科検診結果に関する調査結果

*3 重度むし歯構成割合とは、むし歯がある方の中で、厚生省分類型でB型とC型を合わせた人数の割合。

【参考】厚生省分類

A型：上顎前歯部のみ、または臼歯のみにむし歯がある

B型：上顎前歯部および臼歯部にむし歯がある

C型：C1型…下顎前歯部のみにむし歯がある

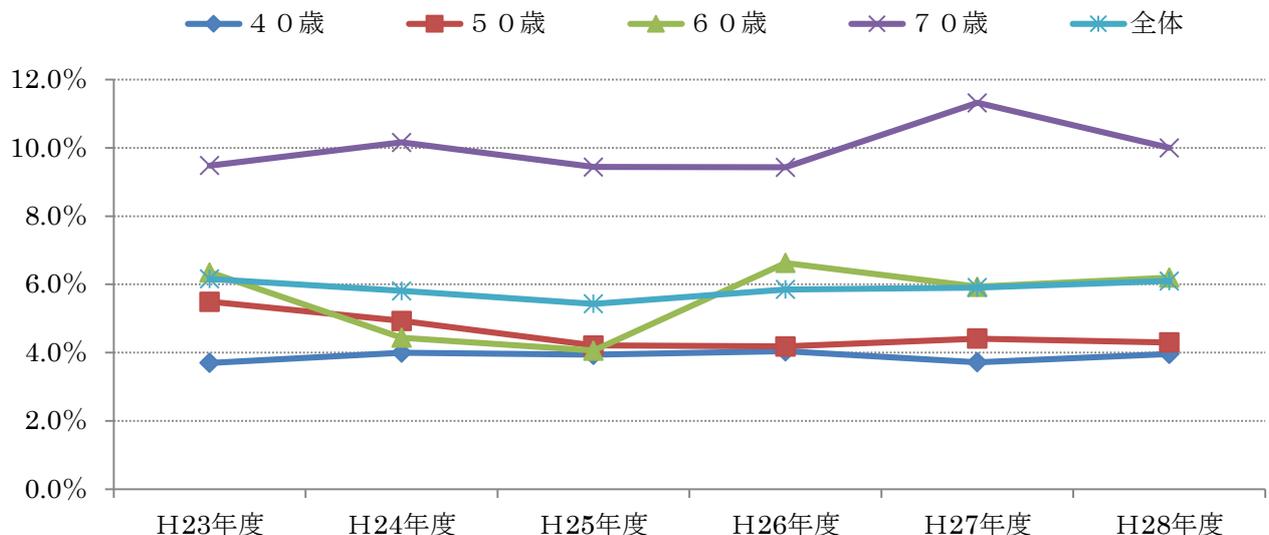
(4) 歯周病検診受診率

本市の歯周病検診の年齢別受診率は、年齢が高くなるに従い、受診率が上昇する傾向にあり、40歳、50歳の受診率が低くなっています。

伊勢原市における歯周病検診年齢別受診率

対象 年齢		年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
40歳	対象者(人)		1,650	1,677	1,724	1,560	1,534	1,398
	受診者(人)		61	67	68	63	57	56
	受診率(%)		3.7	4.0	3.9	4.0	3.7	4.0
50歳	対象者(人)		1,221	1,258	1,234	1,388	1,383	1,322
	受診者(人)		67	62	52	58	61	57
	受診率(%)		5.5	4.9	4.2	4.2	4.4	4.3
60歳	対象者(人)		1,371	1,238	1,157	1,176	1,063	1,051
	受診者(人)		87	55	47	78	63	65
	受診率(%)		6.4	4.4	4.1	6.6	5.9	6.2
70歳	対象者(人)		1,393	1,339	1,409	1,177	998	1,357
	受診者(人)		132	136	133	111	113	136
	受診率(%)		9.5	10.2	9.4	9.4	11.3	10.0
合計	対象者(人)		5,635	5,512	5,524	5,301	4,978	5,128
	受診者(人)		347	320	300	310	294	314
	受診率(%)		6.2	5.8	5.4	5.9	5.9	6.1

【年齢別】伊勢原市歯周病検診受診率



資料：保健事業概要（伊勢原市健康づくり課）

(5) 歯周病検診受診者の指導区分別状況

歯周病検診受診者の指導区分（要精密検査者、要指導者、異常認めず）では、全国、本市ともに著しく要精密検査者の割合が高く、どの年代においても本市は全国より高い傾向にあり、平成27年度では50歳と70歳の要精密検査者の割合が、他の年代より高くなっています。

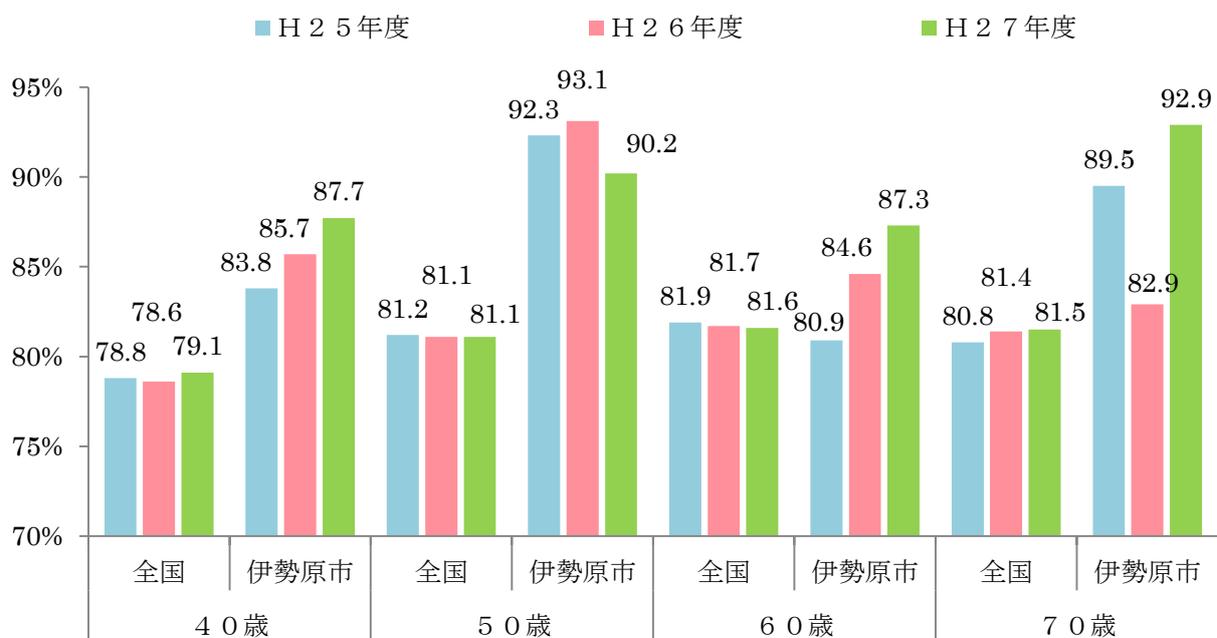
歯周病検診受診者の指導区分別割合

(単位：%)

区 分	H25 年度			H26 年度			H27 年度			
	要精密 検査者	要指導者	異常 認めず	要精密 検査者	要指導者	異常 認めず	要精密 検査者	要指導者	異常 認めず	
40歳	全国	78.8	9.4	11.2	78.6	10.5	10.2	79.1	10.3	10.0
	伊勢原市	83.8	4.4	11.8	85.7	9.5	4.8	87.7	5.3	7.0
50歳	全国	81.2	8.3	10.0	81.1	9.2	9.1	81.1	9.3	9.0
	伊勢原市	92.3	1.9	5.8	93.1	3.4	3.4	90.2	1.6	8.2
60歳	全国	81.9	8.1	9.6	81.7	8.9	8.9	81.6	9.0	8.9
	伊勢原市	80.9	6.4	12.8	84.6	3.8	11.5	87.3	4.8	7.9
70歳	全国	80.8	8.0	10.7	81.4	8.9	9.2	81.5	8.8	9.3
	伊勢原市	89.5	3.8	6.8	82.9	9.0	8.1	92.9	1.8	5.3
全体	全国	80.6	8.5	10.4	80.6	9.4	9.4	80.7	9.4	9.3
	伊勢原市	87.3	4.0	8.7	85.8	6.8	7.4	90.1	3.1	6.8

資料：厚生労働省平成25～27年度地域保健・健康増進事業報告，保健事業概要（伊勢原市健康づくり課）

要精密検査者の割合



資料：厚生労働省平成25～27年度地域保健・健康増進事業報告
保健事業概要（伊勢原市健康づくり課）

(6) 口腔がん検診

本市では、秦野伊勢原歯科医師会が実施する口腔がん検診の事業費を補助し、毎年「歯と口の健康週間（6月）」に実施しています。

口腔がんに関する意識を啓発するとともに、口腔がんの早期発見、早期治療に努めています。

口腔がん検診実施状況

(単位：人)

区分		H26年度	H27年度	H28年度
申込者数		20	23	36
受診者数		19	19	20
結果	異常なし	19	19	19
	要精密検査	0	0	1

資料：保健事業概要（伊勢原市健康づくり課）

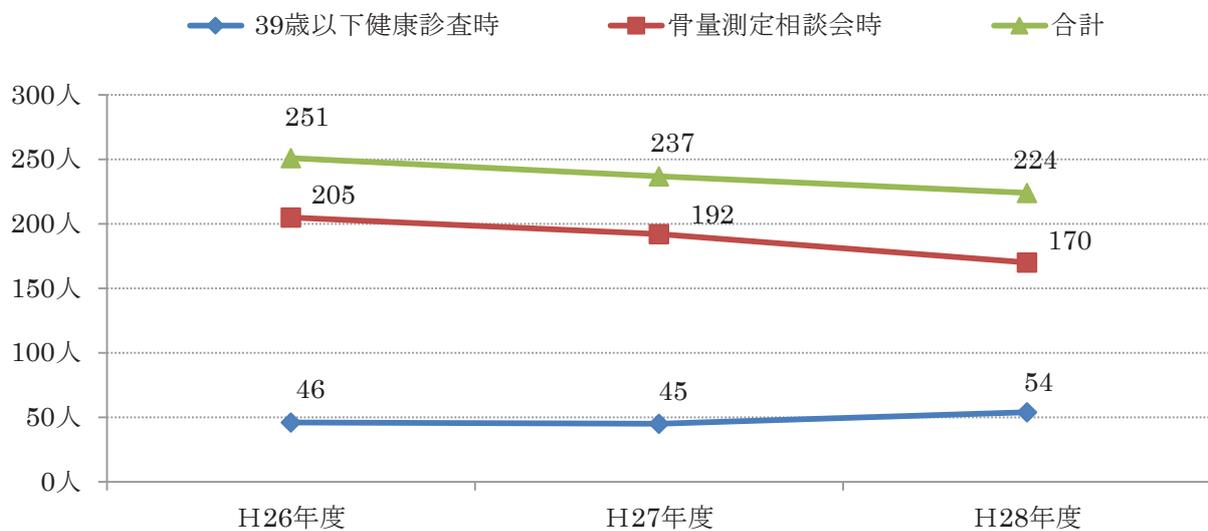
(7) 歯科衛生士による歯科相談

本市では、39歳以下健康診査事業と骨量測定会に合わせて、歯科衛生士による歯科相談を実施し、気軽に歯や口腔のことを相談できる場を設定しています。

過去3年間では、実施回数は変化していませんが、参加人数は減少傾向です。

歯科衛生士における歯科相談参加人数

区 分	H26年度		H27年度		H28年度	
	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)
39歳以下健康診査時	3	46	3	45	3	54
骨量測定相談会時	18	205	18	192	18	170
合計	21	251	21	237	21	224



(8) 8020運動推進員養成事業

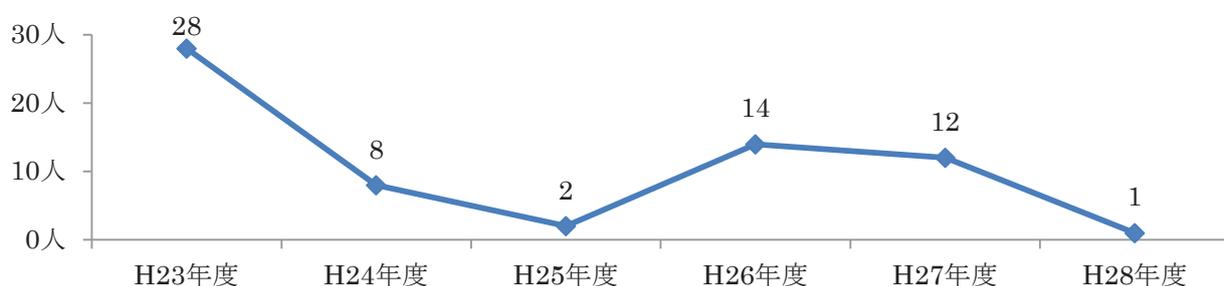
神奈川県では、平成23年度から、8020運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施する8020運動推進員の養成を行っています。

平成29年1月現在では、65名の8020運動推進員が登録されています。

また、8020運動推進員が、地域の人に健口体操を普及した人数は、平成28年度で1,041人となっています。

伊勢原市における8020運動推進員養成事業 推進員養成実績

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
人数(人)	28	8	2	14	12	1



8020運動推進員の健口体操を普及した人数

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
人数(人)	356	231	1,101	1,041



8020運動推進員の発表

神奈川県

健口体操で、 口から元気の機能アップ!

口には、食べる機能や、話す機能などがあります。食べる時には、歯で食物を噛む（咀嚼）、飲み込む（嚥下）という一連の動作が必要です。話をする時には、発音したり顔全体で表情を作ったりします。

しかし、年齢を重ねるにつれ、顔の筋肉や舌の動きが鈍くなったり、唾液の量が減ったりするため、噛む力や飲み込む力が低下してきます。

口の機能を維持・向上するには、意識をはっきりさせ顔の表情も豊かにする『顔面体操』、舌の動きを滑らかにし、唾液の分泌を促す『舌体操』、唾液の分泌を促す『唾液腺マッサージ』などの『健口体操』が効果的です。健口体操を毎日続けることで、口や舌の動きがなめらかになり唾液も出やすくなります。

生涯を通じて、なんでも不自由なく食べることができ、健康を維持できるように、口から元気になる健口体操を始めてみませんか。

表情豊かに**顔面体操**（各3回） *朝起きたら、行いましょう！

<small>くちびるを横に引いて口角（唇の端）を上げ、しっかり目を開きます。</small> <small>口とおもいきりあけます。</small> <small>口を閉じて頬をふくらませ、空気の玉を左右に動かします。</small>

動き滑らかに**舌体操**（各3回） *食事をする前や時間のあるときに行いましょう！
(口を閉じたまま左右上下に動かしたり、まわしたりする方法も効果的です)

<small>舌をおもいきり前に出したりひっこめたりします。</small> <small>舌をできるだけ前に出して、上下左右に動かします。</small> <small>口の周りをなめるように舌をまわります。</small>

健口体操ちらし（神奈川県作成）

(9) 障害児者等歯科保健事業

神奈川県では、心身に障がいをもつ幼児等を対象に、歯科検診・保健指導・予防処置を実施し、さらに、多職種（歯科医師・歯科衛生士・管理栄養士・保健師）と連携し摂食機能発達相談を実施しています。

療育歯科相談実施状況（伊勢原市・秦野市）

区分	開設回数 (回)	受診者延人数 (人)	実施内容内訳（延人数）		
			歯科検診 (人)	予防処置 (人)	摂食指導 (人)
H25年度	27	40(18)	23	14	17
H26年度	20	34(15)	27	10	10
H27年度	13	14(6)	14	10	7

注) 受診者延人数の()は実人数である。

資料：平塚保健福祉事務所秦野センター年報平成27年度版

(10) 在宅歯科医療地域連携室の設置

秦野伊勢原歯科医師会は、神奈川県歯科医師会と神奈川県からの委託を受け、自宅や施設等で療養されている人と、歯科医院をつなぐ役割を担うために、秦野伊勢原在宅歯科医療地域連携室を平成27年11月に設置をしました。

平成27年度は開設年度のため利用者は少ないですが、平成28年度は増加しています。

在宅歯科医療地域連携室の利用者の状況

(単位:人)

区分	平成27年度 (11月から3月まで)	平成28年度
訪問歯科相談（電話相談のみ）	0	1
入れ歯について	2	4
歯が抜けた・折れた	0	2
口腔内の確認	0	1
計	2	8

資料：秦野伊勢原歯科医師会



8 伊勢原市健康づくりに関する意識調査の結果

調査の概要

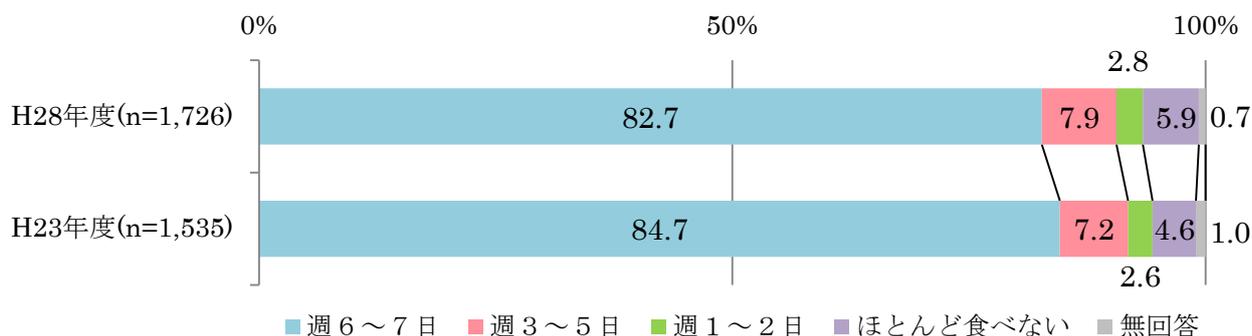
年度	調査対象	配布・回収方法	調査時期	回収数	回答率
H28	18歳以上の市民 3,000人 (住民基本台帳より無作為抽出)	郵送	平成28年8月31日から 平成28年9月15日	1,726人	57.5%
H23	18歳以上の市民 3,000人 (住民基本台帳より無作為抽出)	郵送	平成23年7月15日から 平成23年7月29日	1,559人	52.0%

年代別回答状況

年度	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	無回答
H28	1.0% (17人)	4.6% (80人)	9.2% (159人)	14.0% (241人)	17.1% (296人)	26.1% (450人)	26.9% (464人)	1.1% (19人)
H23	1.2% (18人)	4.9% (76人)	21.4% (334人)	43.9% (684人)	28.1% (438人)	0.5% (9人)		

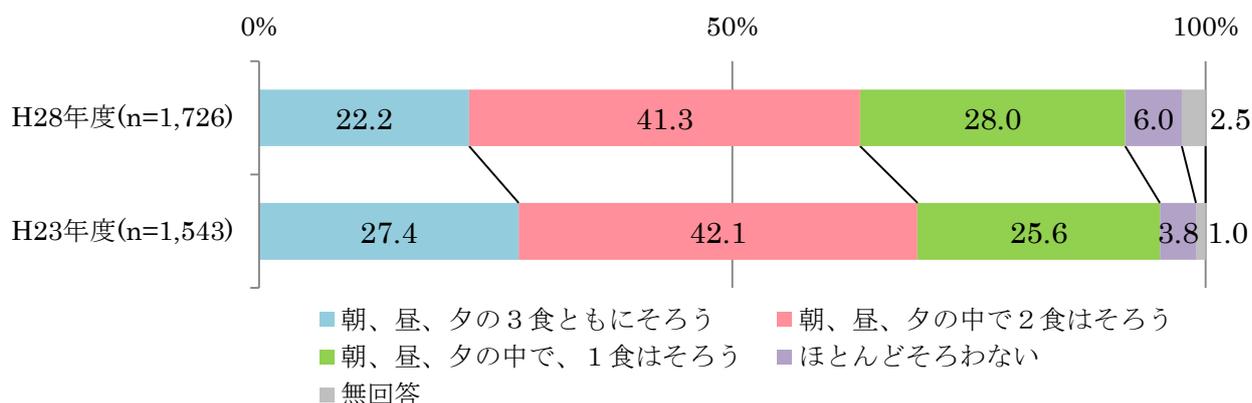
◆「朝食を週6～7日食べている人」は、約83%です。

朝食をどのくらいの頻度で食べているか



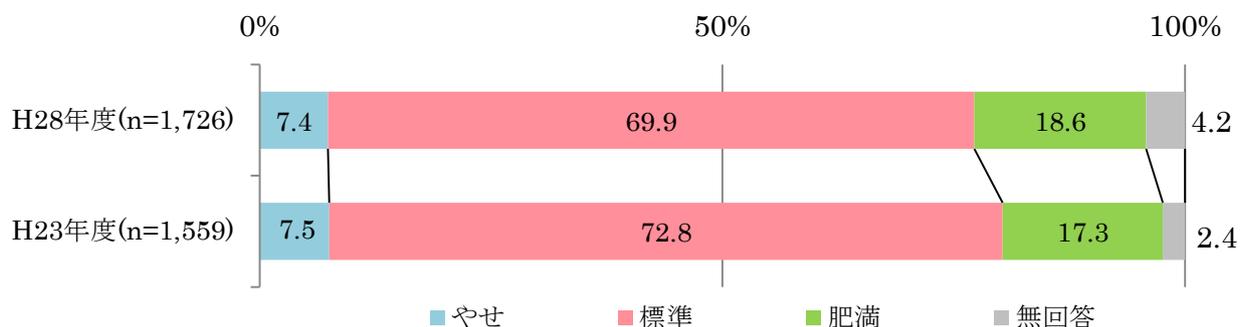
◆「1日に2～3食は主食、主菜、副菜がそろった食事をしている人」は、約64%です。

朝食・昼食・夕食に主食・主菜・副菜のそろった食事をしているか



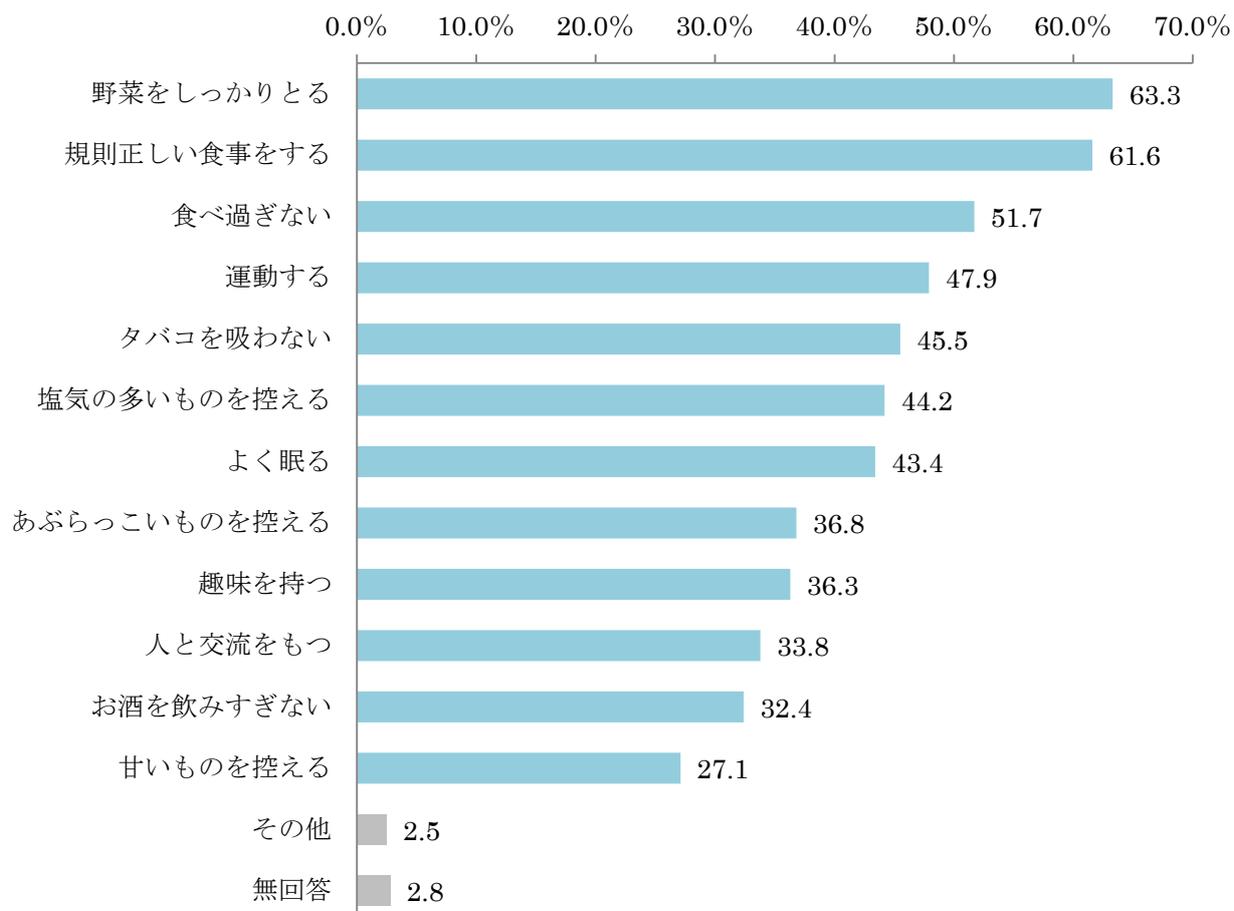
◆「適正体重の人」は、約70%です。

体格



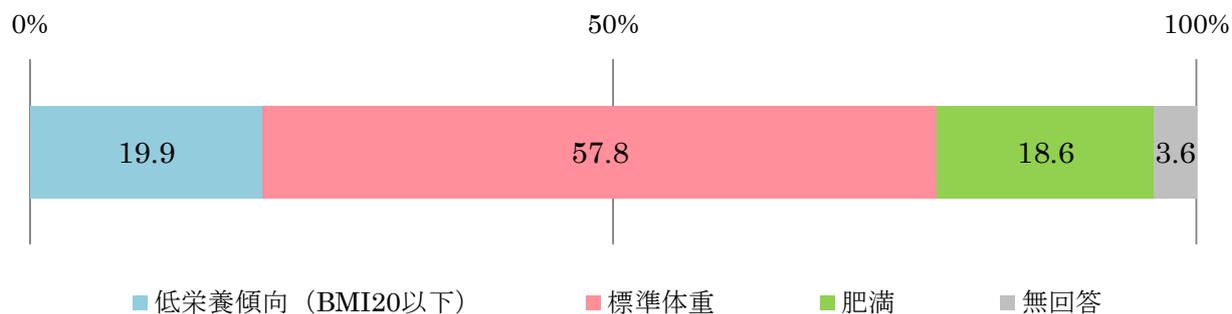
◆健康のために食事に関して日頃から心がけていることのうち、「塩気の多いものを控える」「あぶらっこいものを控える」人は、半数以下の割合です。

平成28年度：健康のために日ごろから心がけていること（複数回答）（n=1,430）



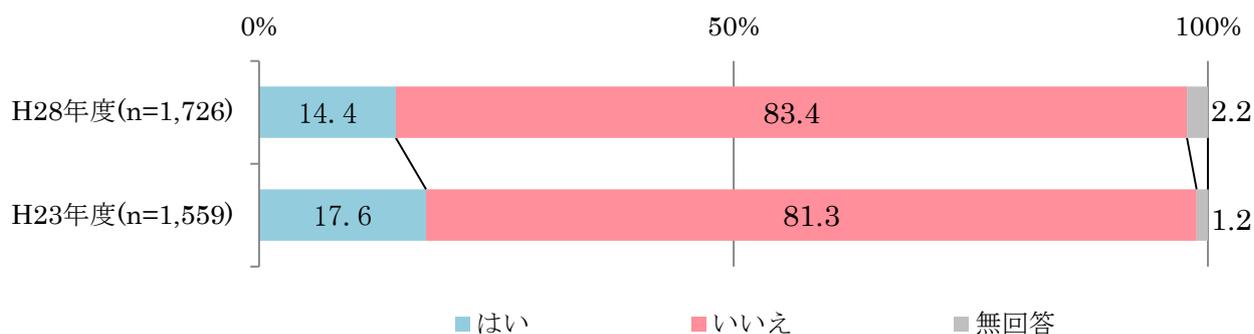
◆高齢者のうち「低栄養傾向（BMI 20以下）」の体格の人は、約20%です。

平成28年度：高齢者（65から79歳）のBMI（n=742）



◆たばこを吸う人の割合は約14%です。

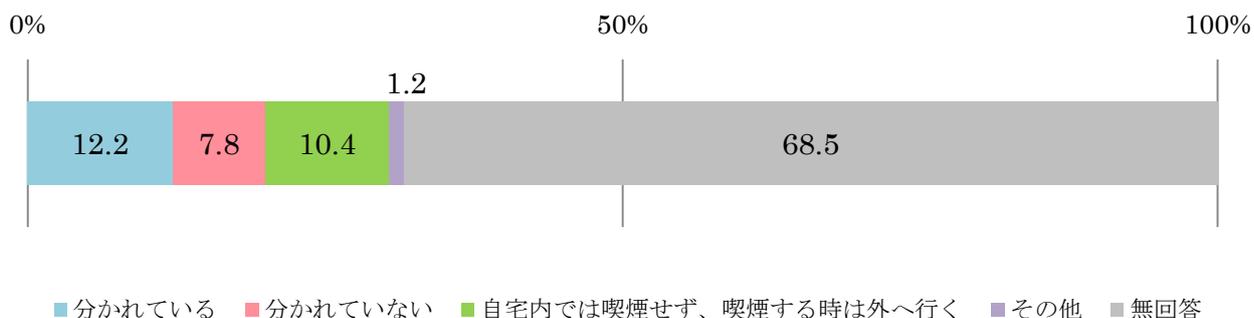
たばこを吸っているか



◆家族の中でたばこを吸う人がいる場合、喫煙場所が分かれていない人は約8%います。

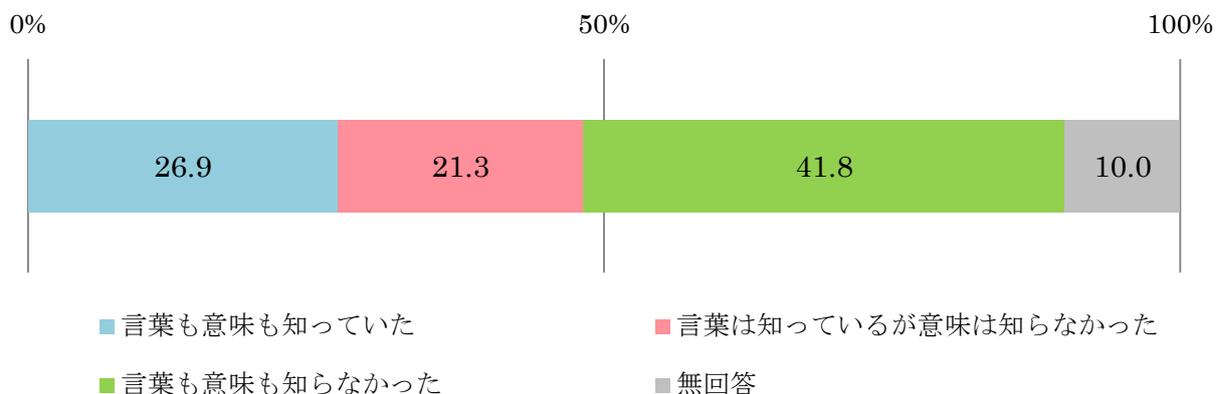
平成28年度：自宅の中で喫煙する場所は分かっているか（n=1,726）

（家族の中で（自分を含む）タバコを吸う人がいる人が回答）



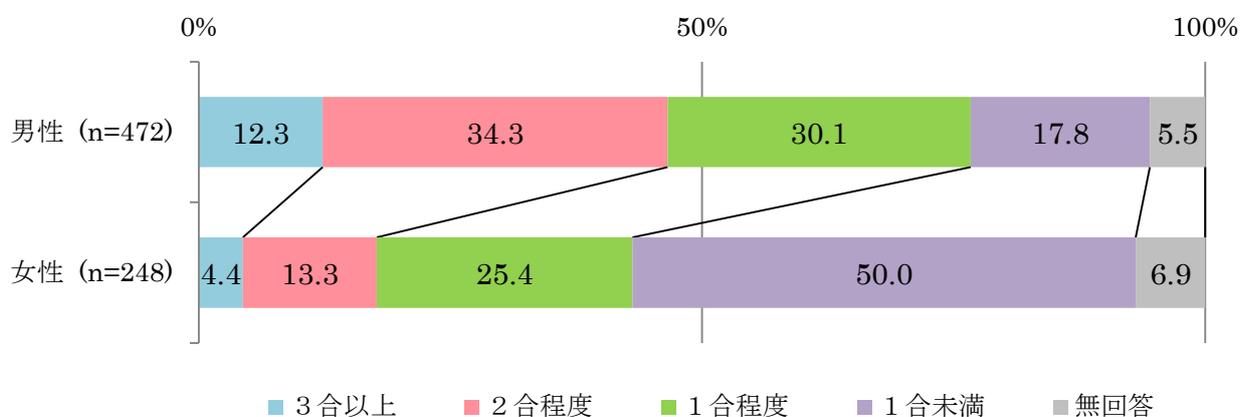
◆COPD^{*4}（慢性閉塞性肺疾患）の言葉も意味も知っている人は約27%です。

平成28年度：COPDの言葉も意味も知っているか（n=1,726）



◆生活習慣病リスクを高める量を飲酒している人（成人1日当たりの純アルコール摂取量：男性40g以上、女性20g以上）は、男性3合以上は約12%、女性2合程度以上は約18%います。

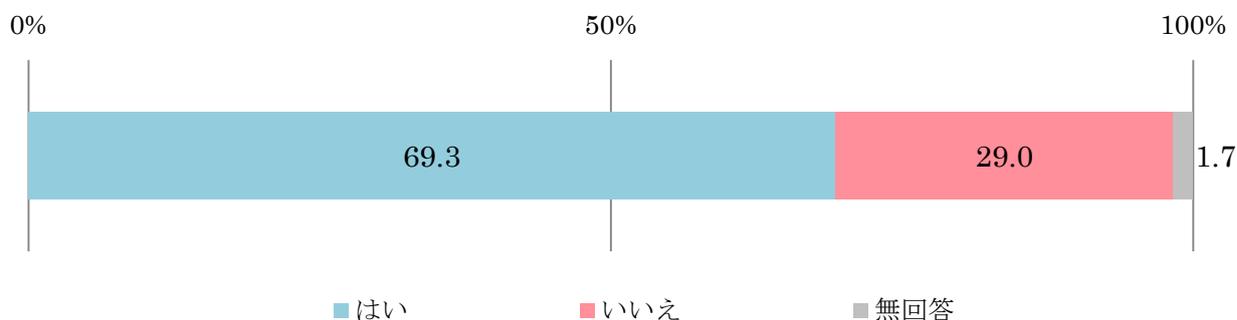
平成28年度：1回に飲むお酒の量【男女別】（お酒を飲むと答えた人が回答）（n=720）



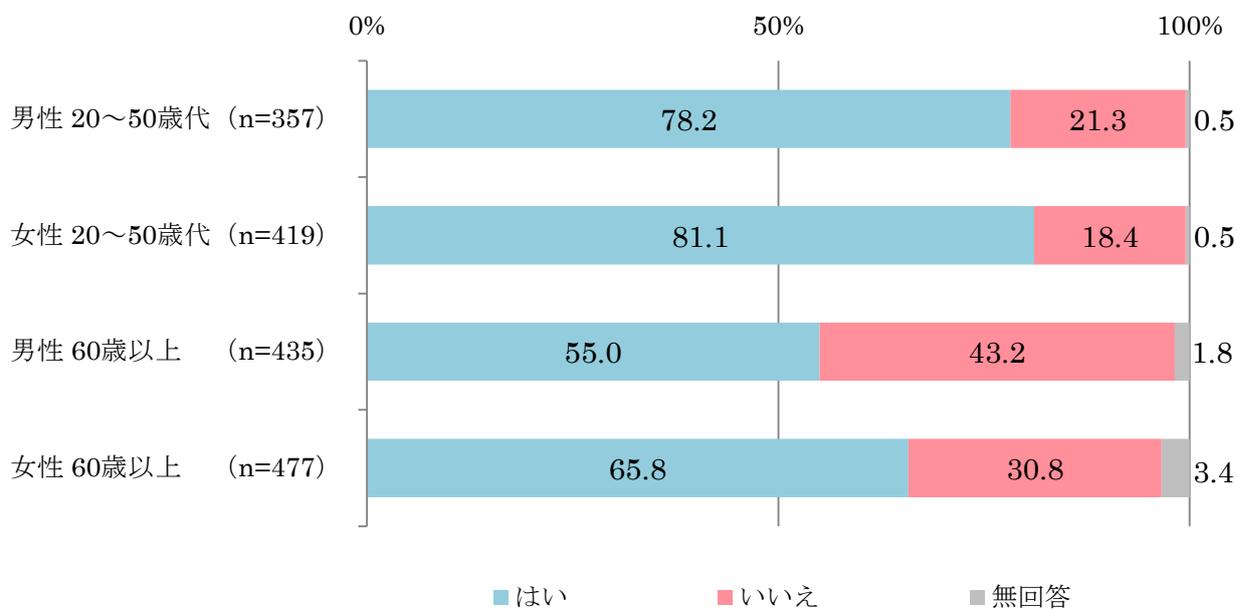
^{*4} COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、以前は「肺気腫」「慢性気管支炎」と呼ばれていた疾患をまとめた病名です。咳、痰、軽い労作中の息切れなどの症状が特徴で、数年間かけて進行し、異常に気づいたときには既に重症化していることがあります。COPDの最大の要因は喫煙です。

◆運動不足と感じている人の割合は、全体で約70%で、20から50歳の人では、男性は約78%、女性は約81%です。

平成28年度：運動不足と感じているか（n=1,726）

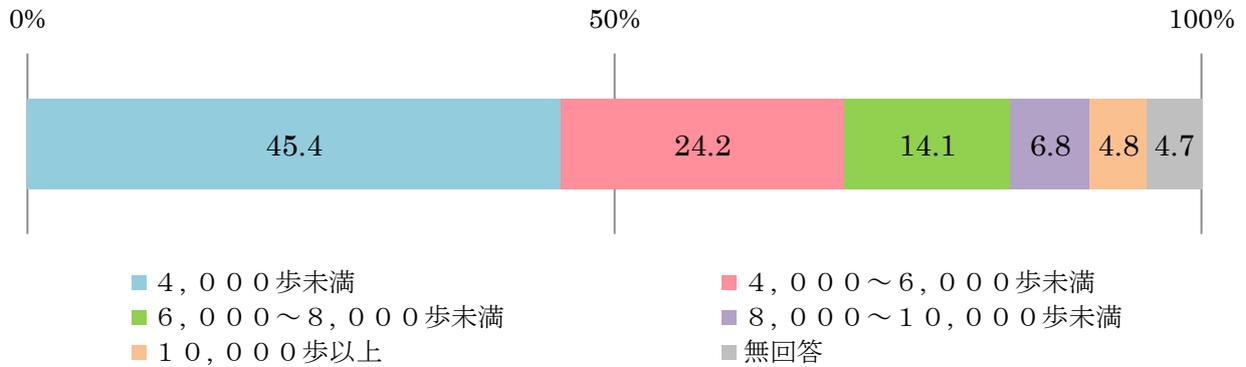


平成28年度：運動不足と感じているか【男女別・年齢別】（n=1,688）

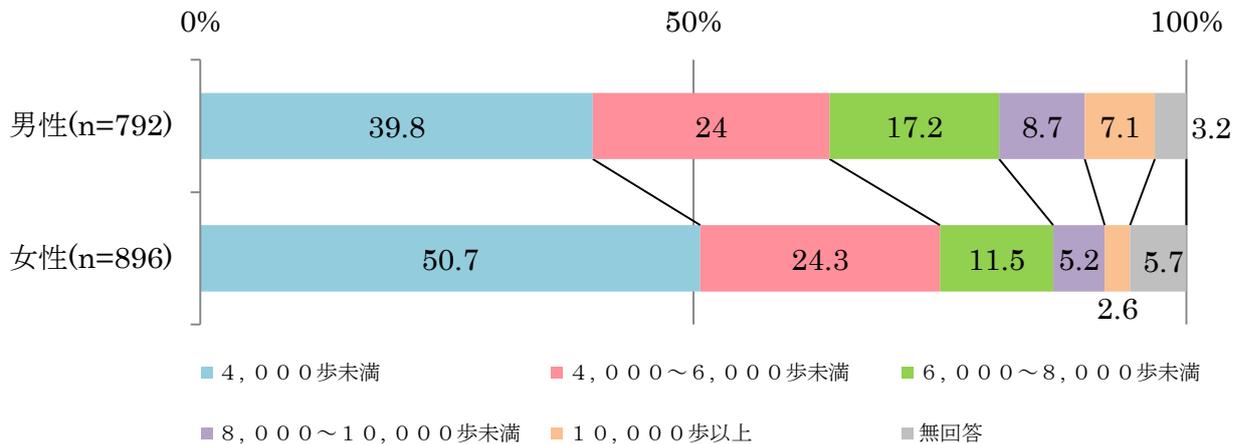


◆1日の歩数は、8,000歩以上の方が全体では約12%、男性では約16%、女性では約8%です。

平成28年度：あなたは1日にどの程度歩くか（n=1,726）

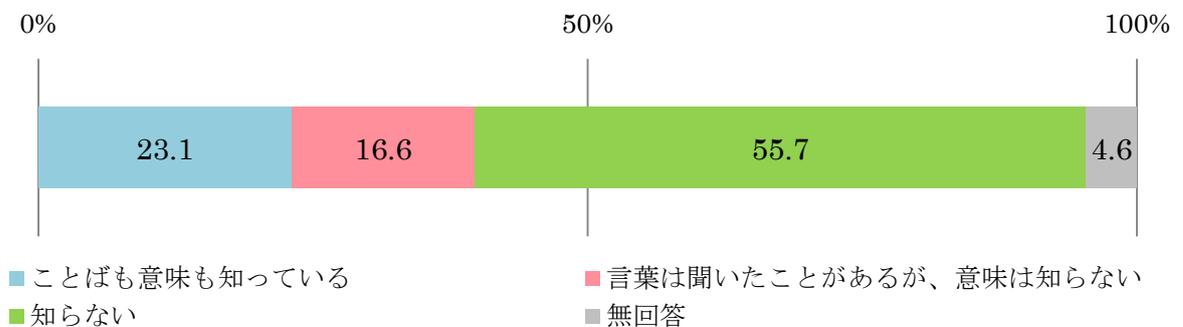


平成28年度：あなたは1日にどの程度歩くか【男女別】（n=1,688）



◆ロコモティブシンドローム^{*5}の言葉も意味も知っている人は約23%です。

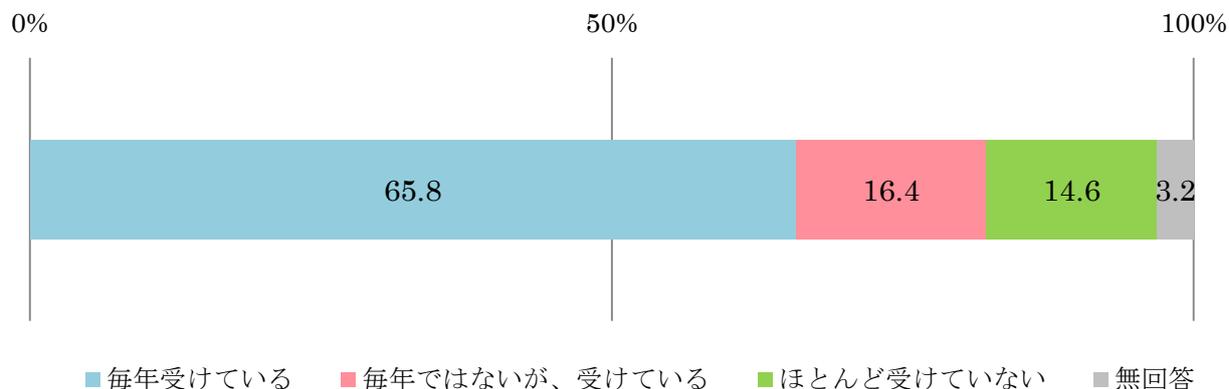
平成28年度：ロコモティブシンドロームを知っているか（n=1,726）



*5 ロコモティブシンドローム（通称：ロコモ）とは、運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態をいいます。進行すると介護が必要になるリスクが高くなるため、いつまでも自分の足で歩き続けていくために、運動機能を維持し、ロコモを予防し、健康寿命を延ばしていく必要があります。

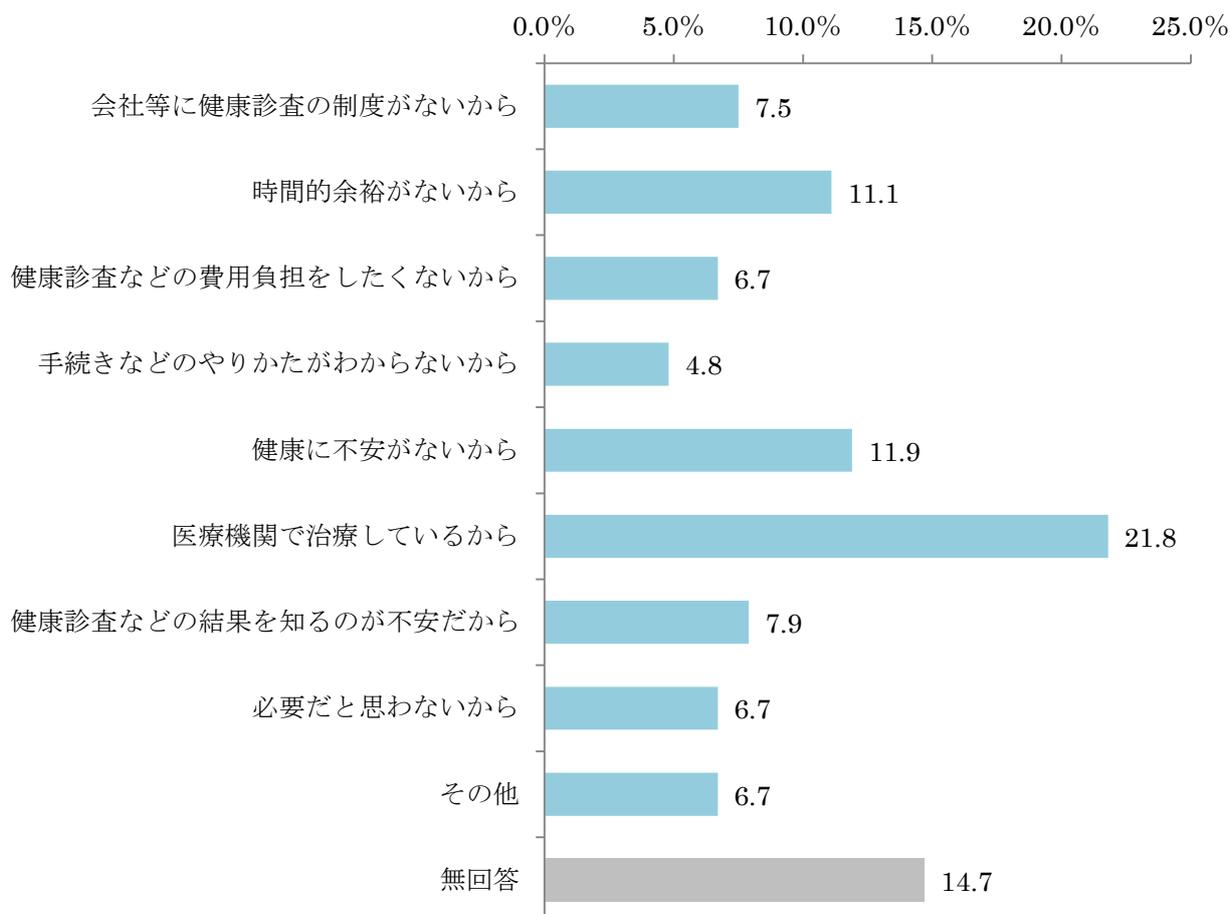
◆1年に1回健康診査を受ける人の割合は約66%です。

平成28年度：健康診査や健康診断など受けている人の割合（n=1,726）



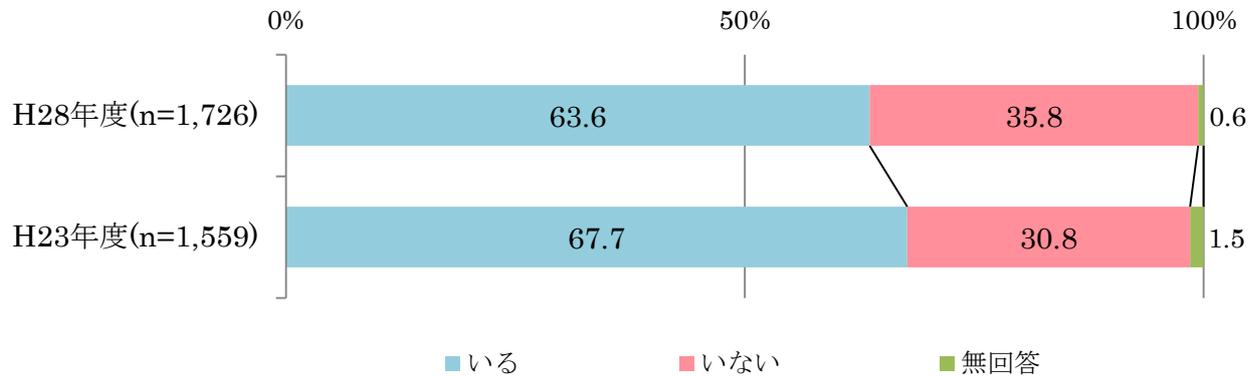
◆健康診査などを受けない理由は、「医療機関で治療しているから」が約22%で、最も多くなっています。

平成28年度：健康診査などを受けない理由（最もあてはまるものを回答）（n=252）



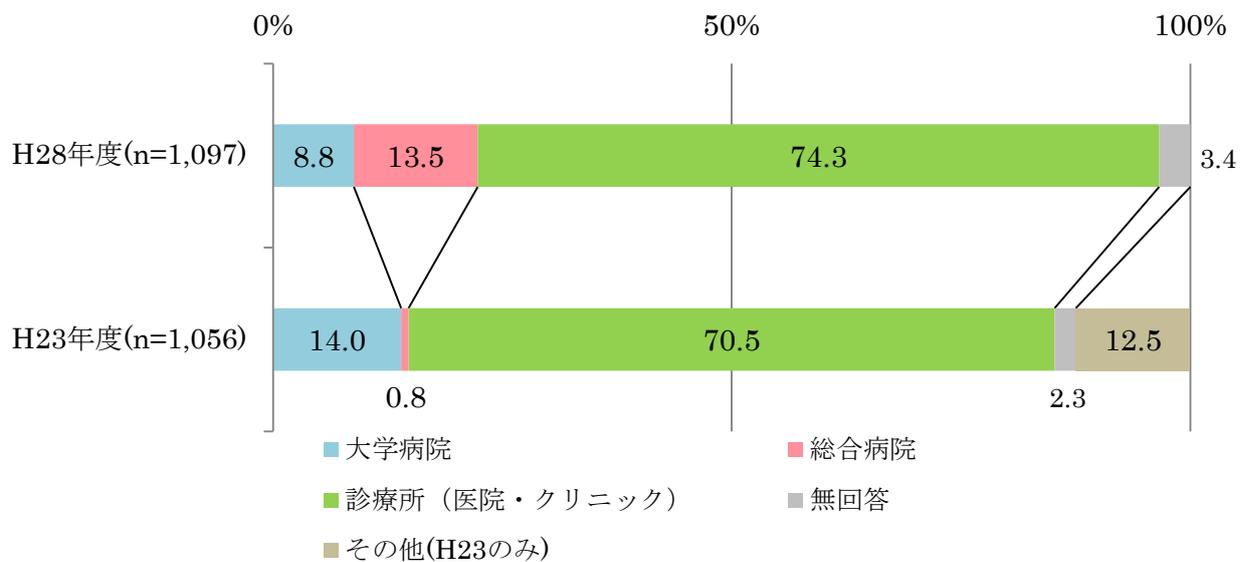
◆かかりつけ医師がいる人は約64%です。

かかりつけ医師の有無



◆かかりつけ医師は、診療所（医院・クリニック）が約74%と最も多くなっています。

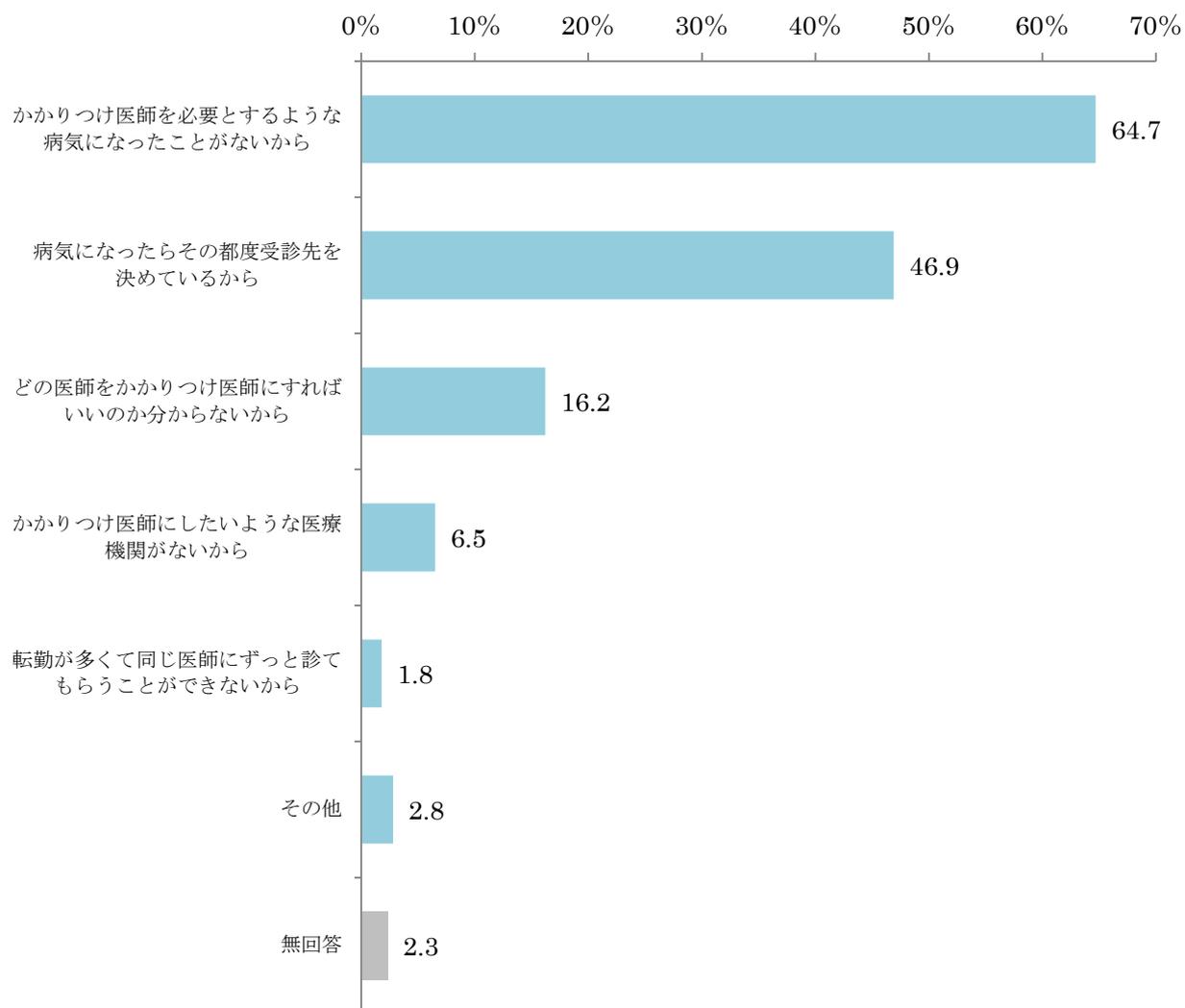
かかりつけ医師の内訳



◆かかりつけ医師がいない理由は、「かかりつけ医師を必要とするような病気になったことがないから」が約65%で最も多くなっています。

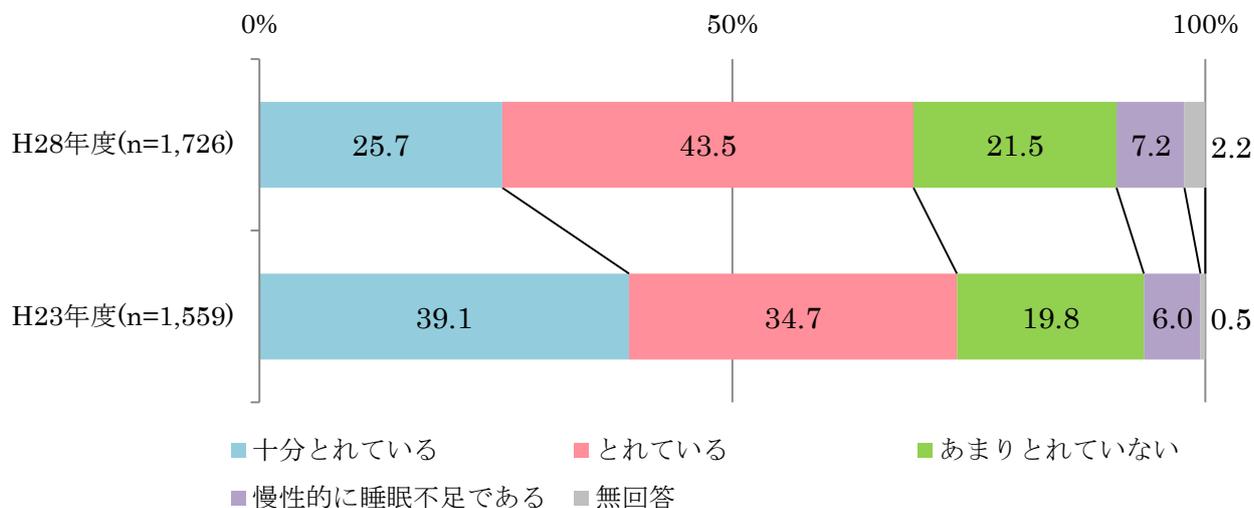
平成28年度：かかりつけ医師がいない理由（n=618）

（かかりつけ医師がいないと回答された人）複数回答



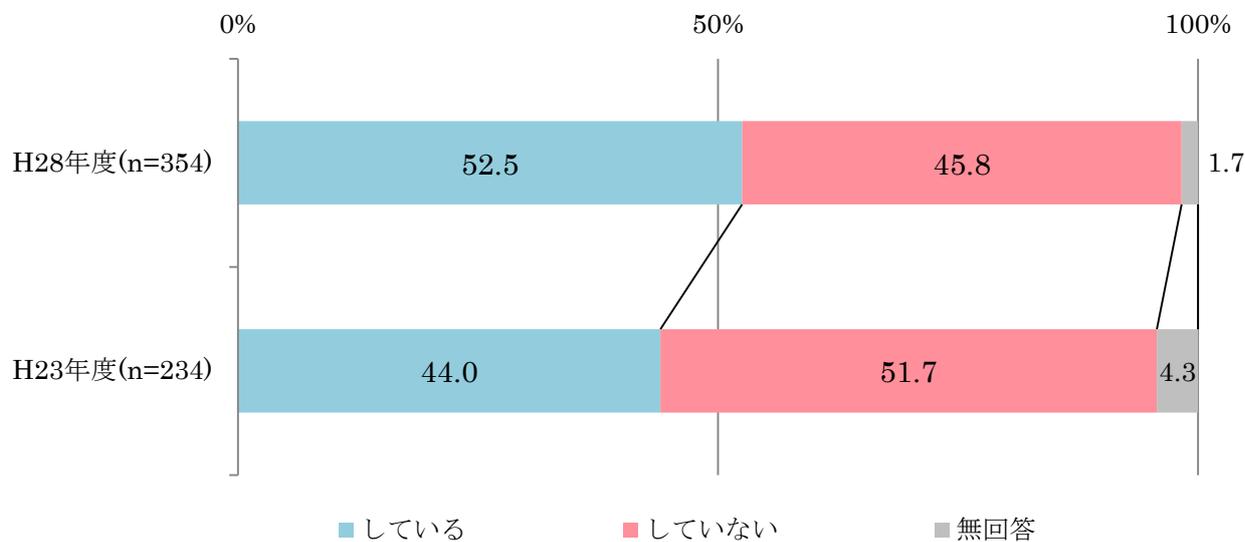
◆睡眠があまりとれていない人の割合は、「あまりとれていない」「慢性的に睡眠不足である」を合わせると、約29%となっています。

睡眠を十分にとれているか



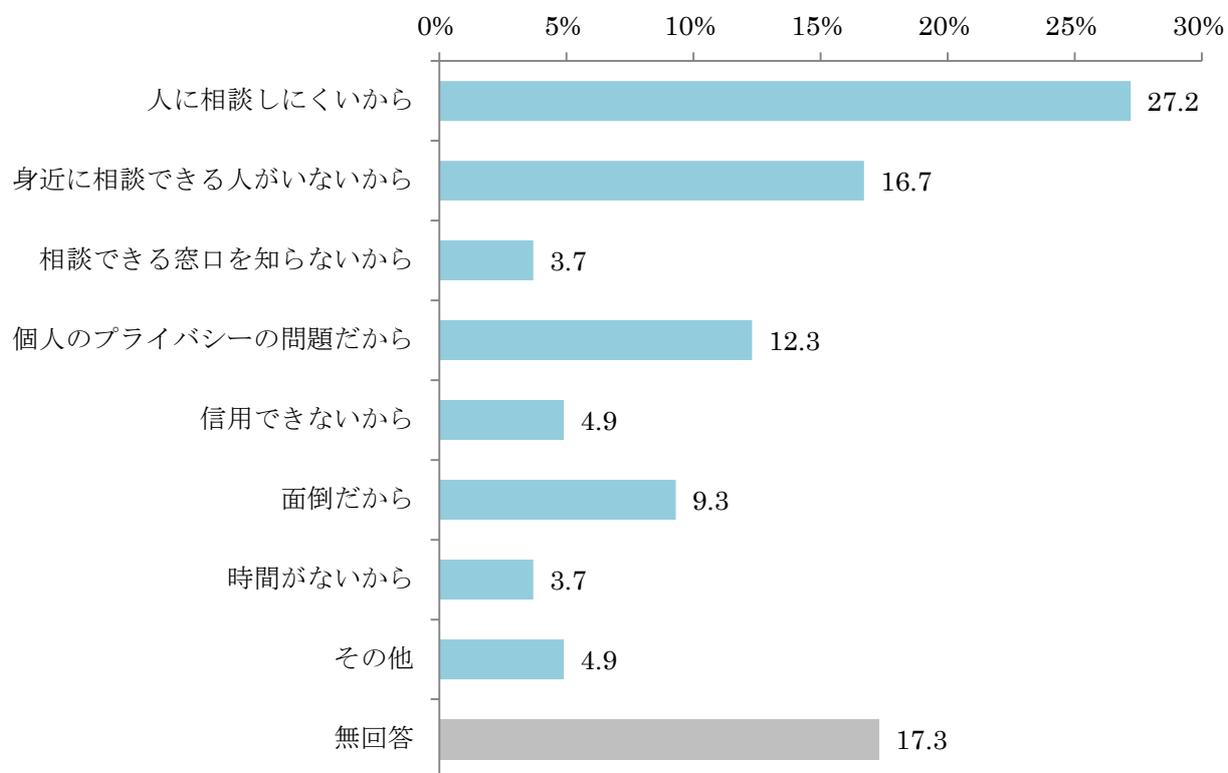
◆悩みがあった時は早めに誰かに相談するようにしている人は、約53%です。

悩みがあった時は早めに誰かに相談するようにしているか



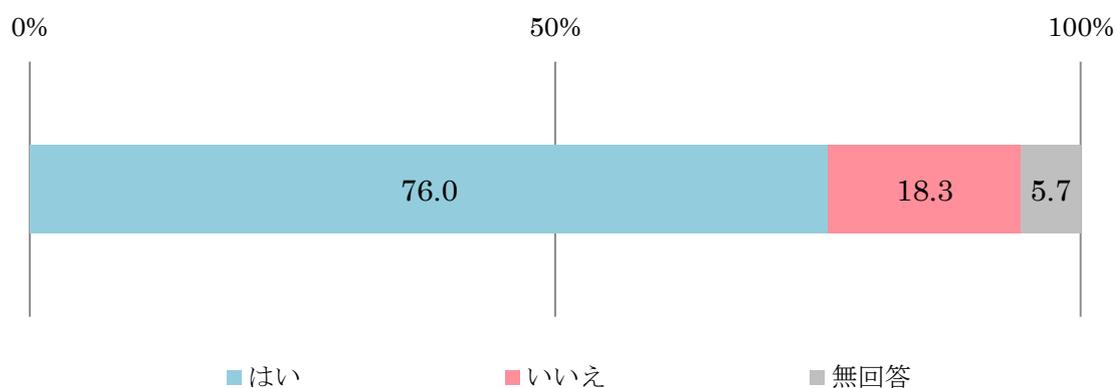
◆悩みがあった時に誰かに相談していない理由は、「人に相談しにくいから」が最も多くなっています。

平成28年度：相談していない理由（1つに○）（相談していないと回答した人が回答）（n=162）



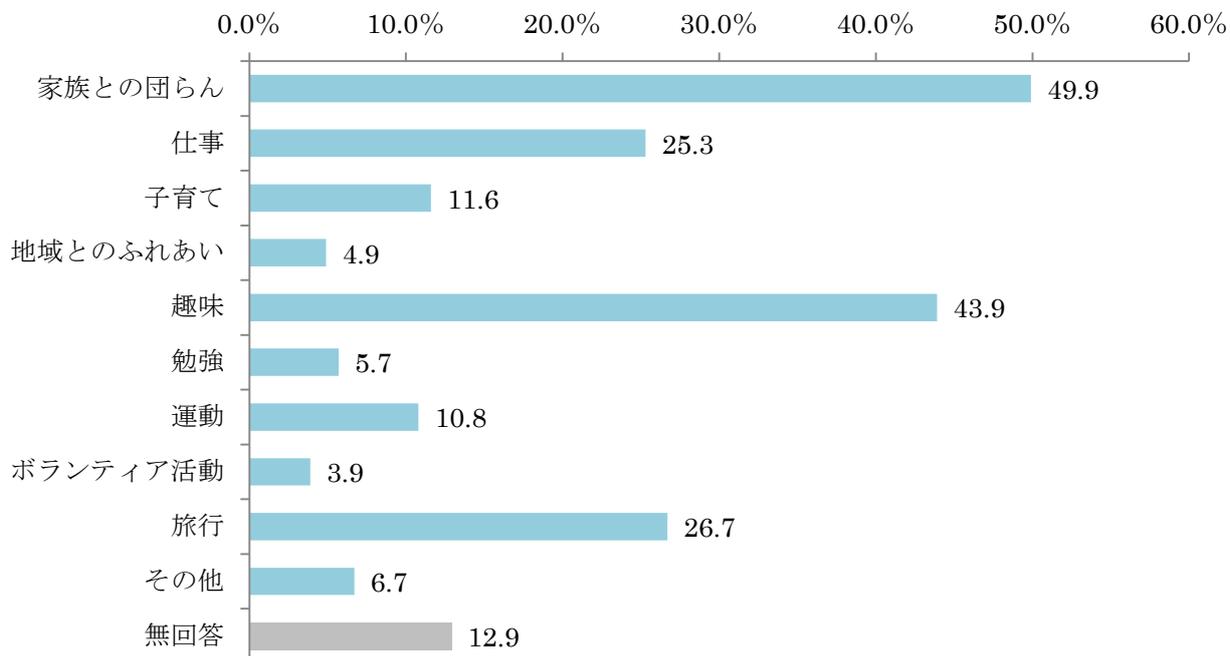
◆生きがいがある人は76%です。

平成28年度：生きがいはあるか（n=1,726）



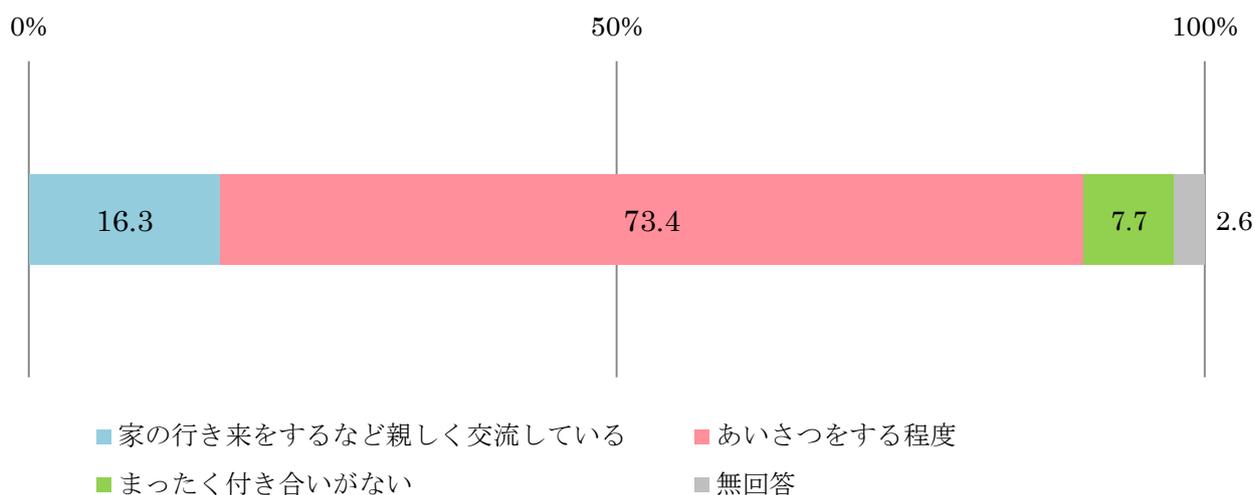
◆生きがいの内容は、「家族との団らん」の割合が約50%と最も多くなっています。

平成28年度：生きがいは何だと思うか（主なものを3つまで○）（n=1,726）



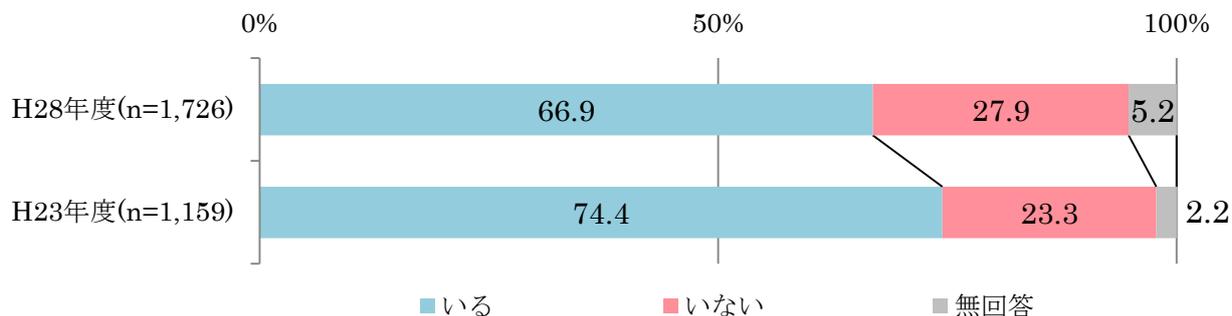
◆近所と親しく交流している人の割合は約16%です。

平成28年度：近所との交流がどの程度あるか（n=1,726）



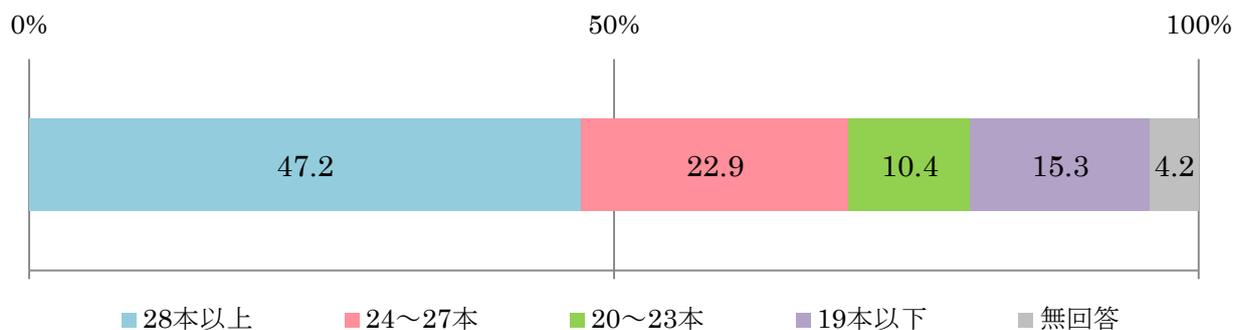
◆かかりつけ歯科医師がいる人は約67%です。

かかりつけ歯科医師の有無



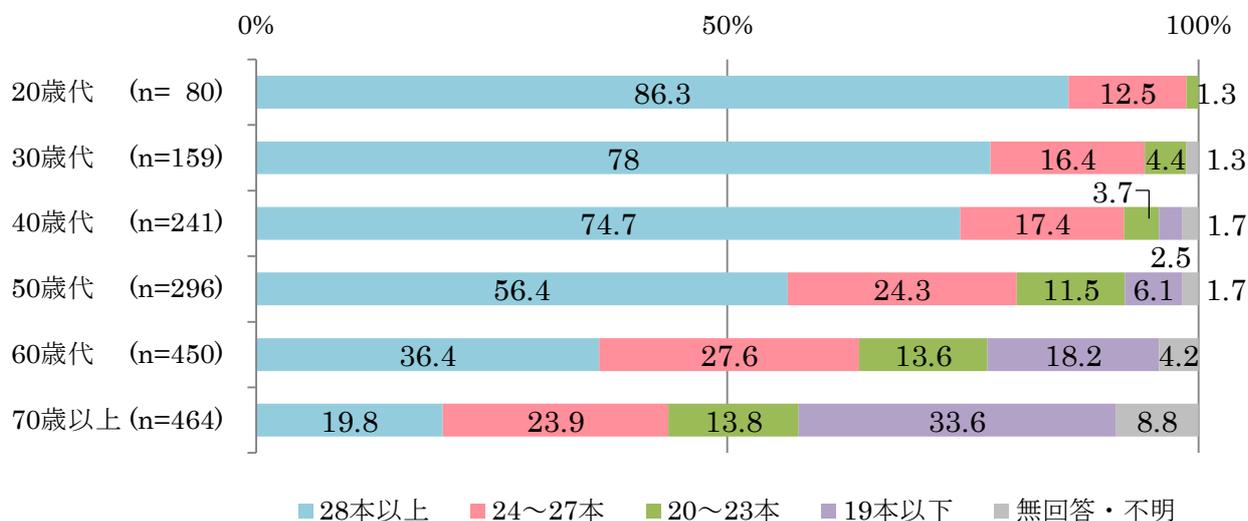
◆歯の本数が「28本以上」の人は約47%です。

平成28年度：現在の歯の本数 (n=1,726)



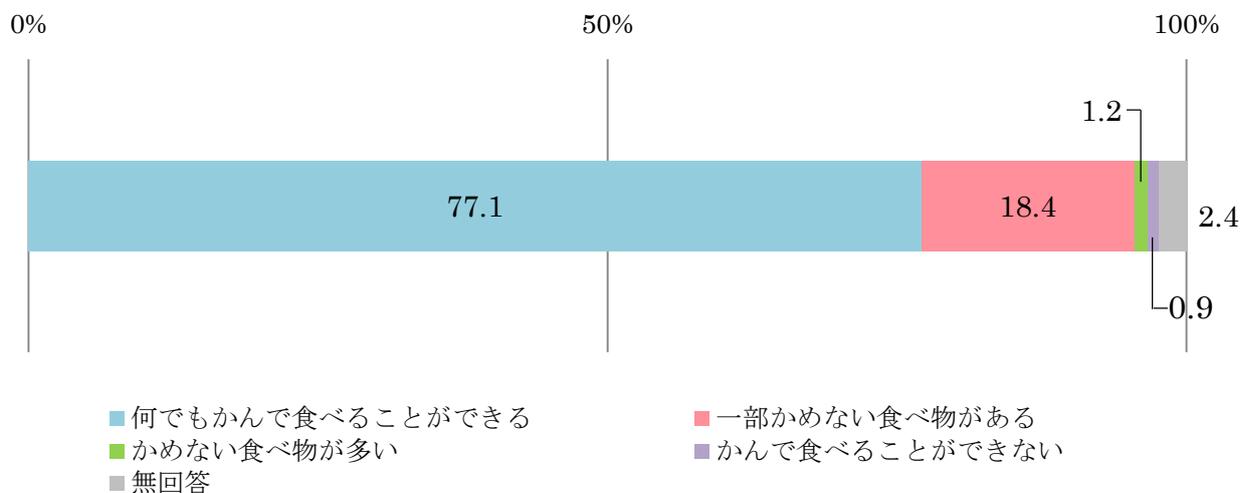
◆歯の本数が「28本以上」の人は年齢が上がるにつれて、少なくなっています。

平成28年度：現在の歯の本数【年齢別】 (n=1,690)



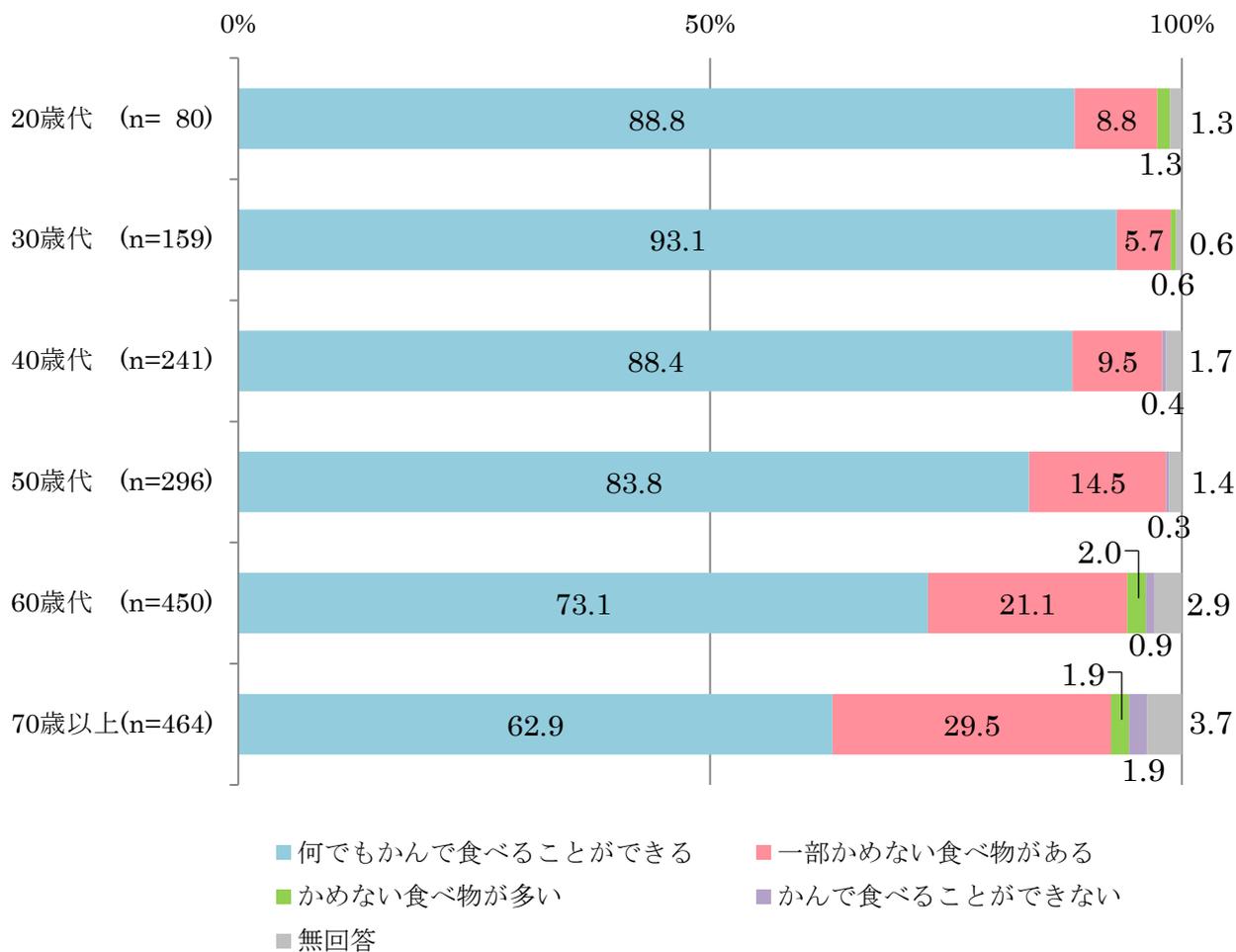
◆なんでもかんで食べることができる人は、約77%です。

平成28年度：かんで食べる時の状態について（n=1,726）



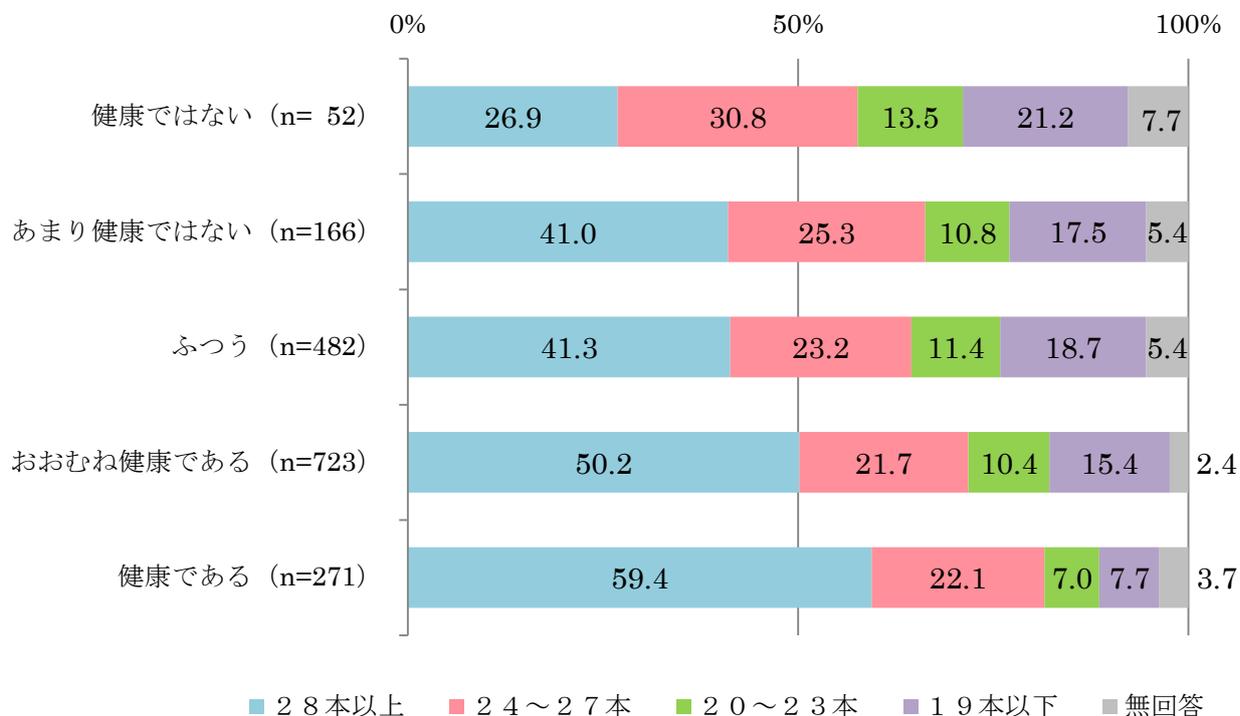
◆なんでもかんで食べることができる人は、年齢が上がるにつれて少なくなっています。

平成28年度：かんで食べる時の状態について【年齢別】（n=1,690）



◆「健康である」と答えた人のうち、28本以上歯がある人が約59%と最も多くなっています。

平成28年度：健康意識と歯の本数（n=1,694）



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン